

2024 年度
履修の手引き
(地域政策学部)



公立大学法人
島根県立大学

★下段は授業回次（「月1」=月曜日1回目の授業）

2024 (令和6年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
			新入学生生活オリエンテーション・履修ガイダンス	入学式	春学期授業開始																										月曜授業日
			春学期履修登録期間（1年）										春学期履修取消期間																		
			春学期履修登録期間（1年以外）										履修登録修正期間（4年生のみ）																		
	授業回次			木1	金1			月1	火1	水1	木2	金2			月2	火2	水2	木3	金3			月3	火3	水3	木4	金4					月4

5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
									月曜授業日																							
	授業回次	水4	木5					火4	水5	月5	金5			月6	火5	水6	木6	金6		月7	火6	水7	木7	金7			月8	火7	水8	木8	金8	

6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
	授業回次		月9	火8	水9	木9	金9			月10	火9	水10	木10	金10			月11	火10	水11	木11	金11			月12	火11	水12	木12	金12				

7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
													オープンキャンパス								（補講予備日）	（補講予備日）			水 春学期試験	”	”		”	”		
			春学期卒業研究提出期間（7/1～7/8 16:00まで）										春学期集中講義履修登録期間																			
	授業回次	月13	火12	水13	木13	金13			月14	火13	水14	木14	金14			火14	水15	木15	金15			月15	火15									

8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
		夏季休業（9/15まで）												（事務局休業）	（事務局休業）	（事務局休業）																	
			異文化理解研修期間（ハワイコース除く） ※8/1～9/4までのうち指定期間																														
	授業回次																																

9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
																		水 春学期成績発表	木 春追試験	金 春追試験												月 春学期卒業式
			異文化理解研修										春学期集中講義期間（9/1～9/30）※期間外での開講の場合あり。詳細は別途時間割参照。																			
	授業回次																															

★春学期集中講義は上記期間外の夏季休業中に行われることがあります。 土、日、祝

★春学期試験の追試験は、講義担当教員の都合で夏季休業中に行われることがあります。 春季、夏季、冬季休業日

10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
授業 回数	午前 火1	午後 水1	午前 木1	午後 金1			月1	午後 火2	午前 水2	午後 木2	午前 金2				-	午前 水3	午後 木3	午前 金3			月2	午後 火3	午前 水4	午後 木4	午前 金4			月3	午後 火4	午前 水5	午後 木5

11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
授業 回数	午前 金5	午後 土5			月4	午後 水6	午前 木6	午後 金6			月5	午後 火5	午前 水7	午後 木7	午前 金7			月6	午後 火6	午前 水8	午後 木8	午前 金8			月7	午後 火7	午前 水9	午後 木9	午前 金9	

12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
授業 回数		午前 月8	午後 火8	午前 水10	午後 木10	午前 金10			月9	午後 火9	午前 水11	午後 木11	午前 金11			月10	午後 火10	午前 水12	午後 木12	午前 金12			月11	午後 火11							

2025年 (令和7年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水 (事務局休業)	木 (事務局休業)	金 (事務局休業)	土	日	月	火	水 月曜授業日	木	金	土	日	月	火	水	木	金 午後休講・午前火曜授業日	土 大学入学共通テスト	日 大学入学共通テスト	月	火	水	木	金	土 大学入学共通テスト(追試験)	日 大学入学共通テスト(追試験)	月	火	水	木	金
授業 回数							月12	午後 木13	午前 金13				火12	午後 水13	午前 木14	午後 火13			月13	午後 火14	午前 水14	午後 木15	午前 金14			月14	午後 火15	午前 水15	午後 木15	午前 金15	

2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	土 (補講予備日)	日 (補講予備日)	月 秋学期試験	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木 追試験	金 追試験	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木 秋学期成績発表(4年生)	金
授業 回数																												

3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土 春季休業(3/31)	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水 一般選抜(後期)	木 一般選抜(後期)	金 秋学期成績発表(4年生以外)	土	日	月	火	水 卒業式	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
授業 回数																															

★秋学期集中講義は上記期間外の春季休業中に行われることがあります。 土、日、祝
★秋学期試験の追試験は、講義担当教員の都合で春季休業中に行われることがあります。 春季、夏季、冬季休業日

2024年度 履修の手引き [目次]

2024年度 学年暦

I	地域政策学部のカリキュラム	
1	教育目標	1
2	教育方針	2
3	コース制	4
	地域政策学部のカリキュラム・マップ	5
II	修学にあたって	
1	年間スケジュール	8
2	履修登録	9
3	授業	13
4	単位数と授業時間数	17
5	卒業要件	18
	■地域経済経営コース	18
	■地域公共コース	25
	■地域づくりコース	32
6	試験	39
7	成績評価	41
8	学生による授業アンケートの実施について	42
9	オフィスアワー	42
III	履修モデルについて	
	■地域経済経営コース	44
	■地域公共コース	47
	■地域づくりコース	50
IV	授業科目表	
	■2024年度地域政策学部授業科目表	53
V	単位互換・単位認定について	58
VI	転学部・転コースについて	63
VII	授業科目インデックス	
	■2024年度授業科目インデックス	64
	■2024年度浜田キャンパス学部非常勤講師一覧	71
VIII	本学大学院への進学について	73

※本書の内容について、変更・訂正をおこなった場合は、学生情報システムに掲載しますので、確認するようにしてください。

I 地域政策学部のカリキュラム

1 教育目標

(1) 教育研究上の目的

本学部では、次のとおり「教育研究上の目的」を掲げています。

地域政策学部地域政策学科
地域の自律的・持続的発展に寄与する教育研究を推進することとし、地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決に貢献する人材を育成するとともに、地域政策に関する基礎的な研究及び実践的な研究を地域と連携しつつ進め、教育研究の成果を幅広く地域社会に還元することを目的とする。

(2) 養成する人材像

本学部における「養成する人材像」は、次のとおりです。

地域政策学部地域政策学科
地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材を育成する。
地域経済経営コース
経済学や経営学に関する実践に裏打ちされた知識や能力をもって、地域経済や企業の発展に貢献できる人材を育成する。
地域公共コース
生活圏である地域の持続と発展、そして人々の共生のために、多様性を尊重しつつ、公共の見地から多様な知識を融合させて、協働と自律の理念のもとに、課題の解決策を立案できる人材を育成する。
地域づくりコース
地域の人々と緊密なコミュニケーションをとりながら、地域の見落とされている価値を見出し、地域の価値を生かした事業を粘り強く継続し、長期的に地域が直面する課題に自分独自の解答を見出すことができる「地域で生きる自立型人材」を育成する。

2 教育方針

(1) ディプロマ・ポリシー

本学部の教育目標に基づき、どのような力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定めた基本的な方針を「ディプロマ・ポリシー」といいます。

学生の学修成果の目標となるものであり、本学部では、次のとおり「ディプロマ・ポリシー」を掲げています。

地域政策学部地域政策学科
地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材として、次の能力を身につけた者で、定められた年限在学し、所定の単位を修得した者に学士（地域政策学）の学位を授与します。
1. 知識・理解 社会科学・人文科学系の学問領域を中心として幅広い知識を修得し、それらの知識を活用しながら、地域の諸課題について多面的に理解することができる。
2. 思考・判断 世界、そして日本全体の政治・社会・経済の動向を見据え、多様な知識を融合・活用しながら、地域の諸課題に対する解決策を構想することができる。
3. 態度・実践 地域の自律的・持続的発展に向けた政策構想について、倫理的妥当性と実現可能性、そして地域社会との協働を視野に入れた議論を展開することができる。
4. 技能・技術 地域の諸課題について、多様かつ広範な視点から調査・考察し、その成果を、自律した個人として、他者に分かりやすく、論理的に発信することができる。

(2) カリキュラム・ポリシー

「ディプロマ・ポリシー」の達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定めた基本的な方針を「カリキュラム・ポリシー」といいます。

本学部では、次のとおり「カリキュラム・ポリシー」を掲げています。

地域政策学部地域政策学科
島根県立大学のカリキュラム・ポリシーのもと、地域政策学部地域政策学科は、教育研究上の目的及び学位授与の方針に掲げる資質・能力を身につけた人材を育成するために、「基礎教養科目群」「専門基礎科目群」「専門科目群」を配置したうえで、各科目群の科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を行います。
教育課程編成の考え方
1 「基礎教養科目群」 (1)幅広い教養に基づく広い視野と思考力、他者への想像力に基づく倫理感、将来の進路に向けて力強く踏み出す力を身につけることを目的に、1年次を中心に、学科共通科目として「一般教養科目」「語学・多文化理解科目」「キャリア科目」を配置します。

2 「専門基礎科目群」

- (1)地域社会の特性と課題について理解を深め、課題について考察する際の基本的な知識や理論・調査手法・国際的な視野を身につけることを目的として、1年次から2年次を中心に、学科共通科目として「学科コア科目」「リサーチ科目」「国際理解科目」「実習科目」を配置します。
- (2)1年次の「演習科目」では、コースごとの基礎演習を必修とし、資料の探索と分析、レポートの作成やプレゼンテーションの技法など、論拠を示しながら論理的に自分の考えをまとめ、発表し、議論する基礎的な素養を身につけます。
- (3)各コースの学びの基礎となる基本的な概念・知識・理論を学ぶことを目的として、1年次から2年次において、コースの中核となる科目を、コースごとに「コア領域科目」として配置します。また、「コア領域科目」と併せて学修することによって、多角的な視点と多様な知識を獲得し、各コースの学びを拡充する科目を、コースごとに「関連領域科目」として配置します。

3 「専門科目群」

- (1)「基礎教養科目群」と「専門基礎科目群」の学修をもとに、各コースの学びを深化・発展させる専門的な知識や理論を学ぶことを目的として、コースごとに「コア領域科目」を配置します。また、「コア領域科目」と併せて学修することにより、多様な専門的知識を融合させて政策を構想する際の基盤となる科目を、コースごとに「関連領域科目」として配置します。
 - (2)各コースにおいて、2年次から4年次の「演習科目」を必修とし、それぞれの演習テーマにより、高度な専門知識を修得するとともに、多様な知識を融合させて政策を構想するための思考力を身につけます。4年次には、それぞれのコースでの4年間の学修成果のまとめとして、卒業研究に関わる調査・研究を遂行します。
- 4 全体を通して予習・復習時間を十分に確保できるように、履修登録単位数の上限設定（キャップ制）を導入します。

学習内容及び学習方法

- ・教養教育、専門教育の知識を修得するために、主として講義形式の科目を履修します。
- ・多様な知識を融合させて政策を構想するための思考力及び政策構想を分かりやすく発信するための技術を身につけるために、講義形式の科目の履修とともに、すべての学年で演習などの少人数制の科目を必ず履修します。
- ・多様な他者との協働を視野に入れて物事に取り組む態度を培うために、講義形式の科目や演習科目の履修に加え、地域をフィールドとする実習科目を履修します。

学修成果の評価方法

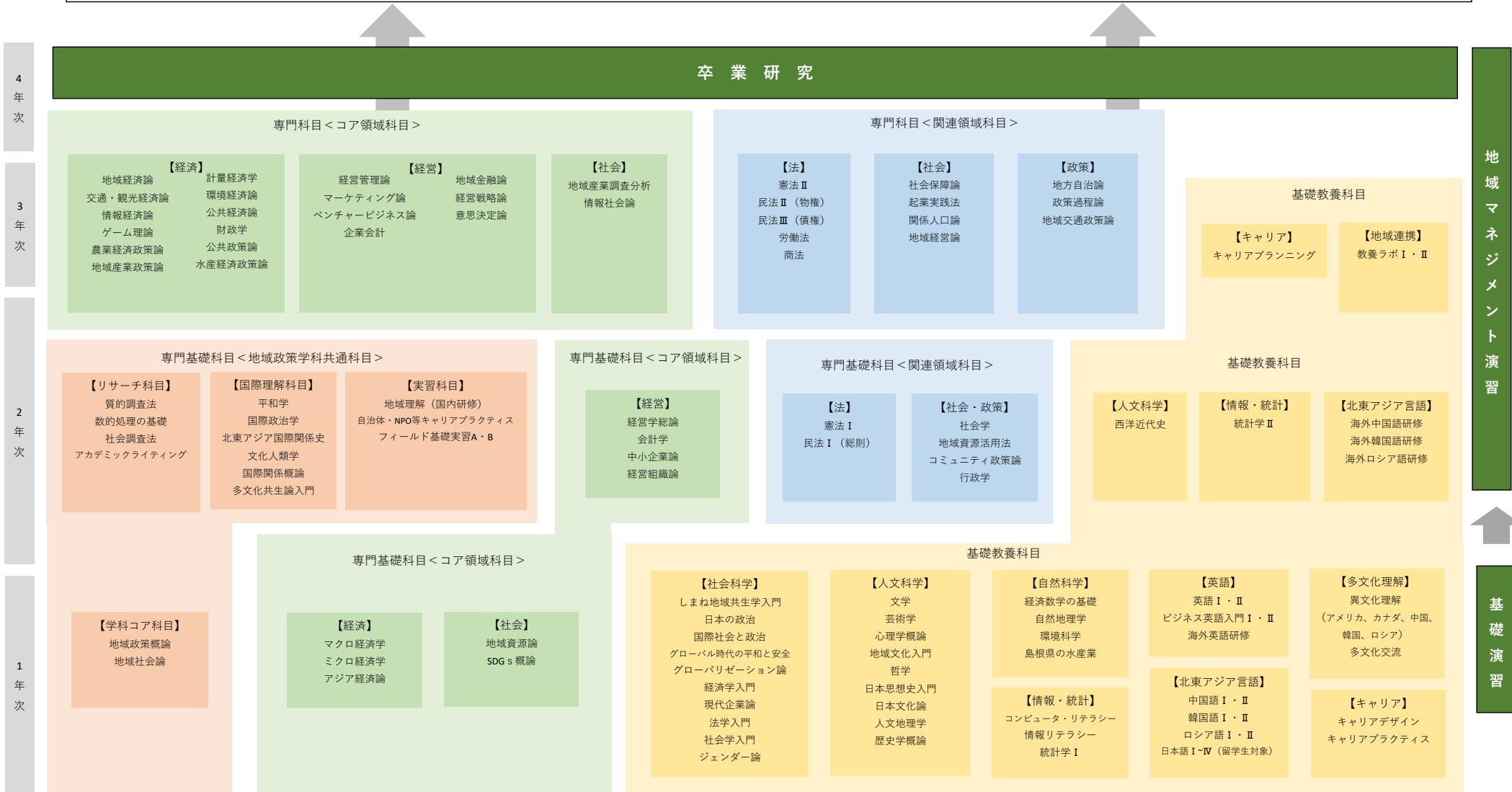
- ・学修の成果は、各科目が定める方法で行う試験により厳格に評価します。評価の基準は、各科目のシラバスに記載された到達目標をどの程度達成できているのかという観点から定めます。
- ・試験による評価については、中間・期末試験、レポート試験、小テスト、平常点などを科目の性質に応じて組み合わせて行い、その方法と配点は開講に際してシラバス等により明示します。
- ・中間・期末試験、レポート試験では、具体的な評価の基準を定め、異議申し立て制度を設置することにより、厳格で公平な成績評価を行います。

3 コース制

本学部は、1学科3コースにより構成されており、基本的には、入学時点で在籍するコースにおいて4年間学修し、所定の科目を履修します。

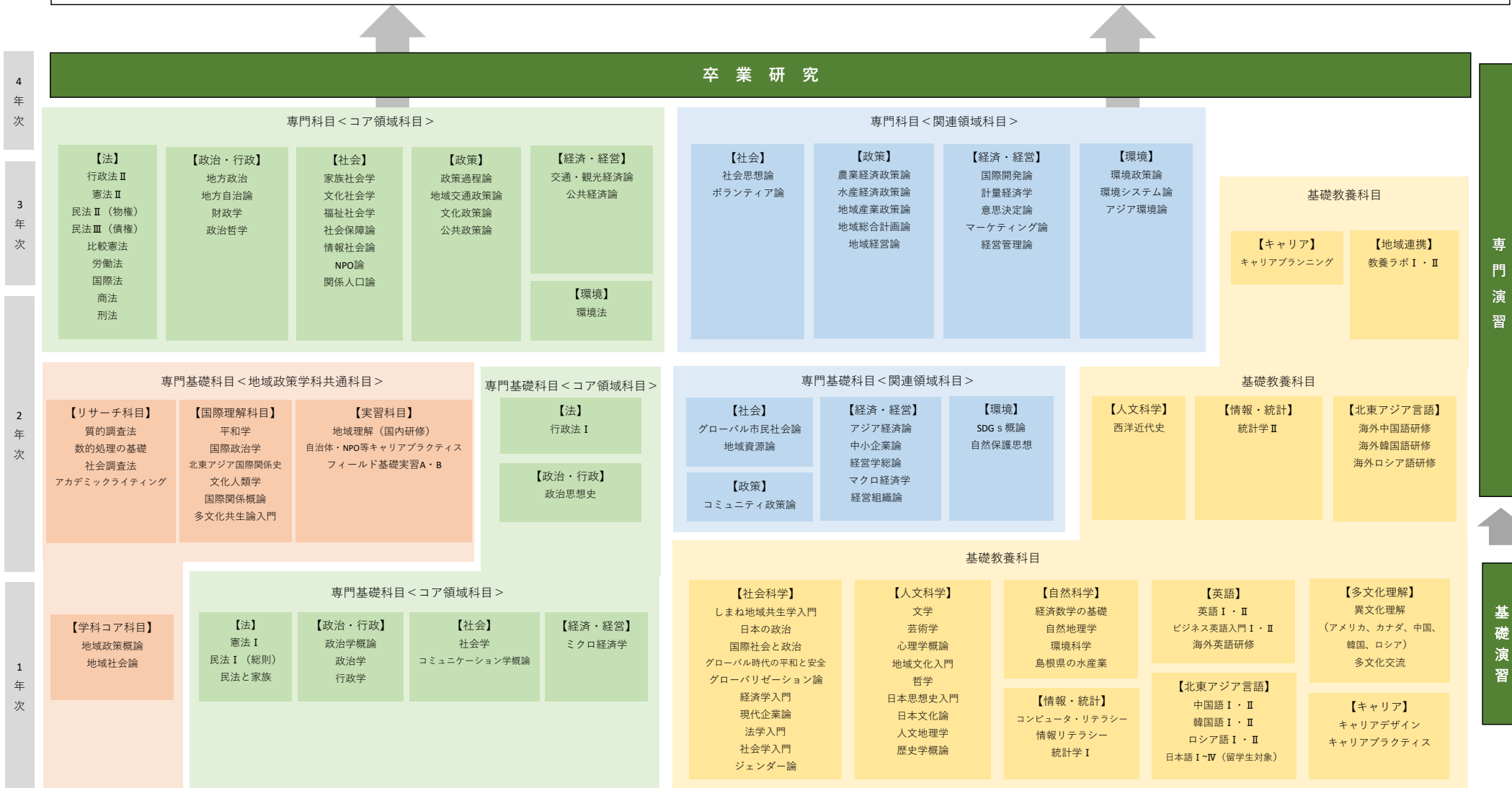
学科名	コース名
地域政策学科	地域経済経営コース
	地域公共コース
	地域づくりコース

経済学、経営学などに関する知識を基に、行政や企業と連携したフィールドワークも交えて学び、解決策の立案と実行に向けた応用力を身につけます。



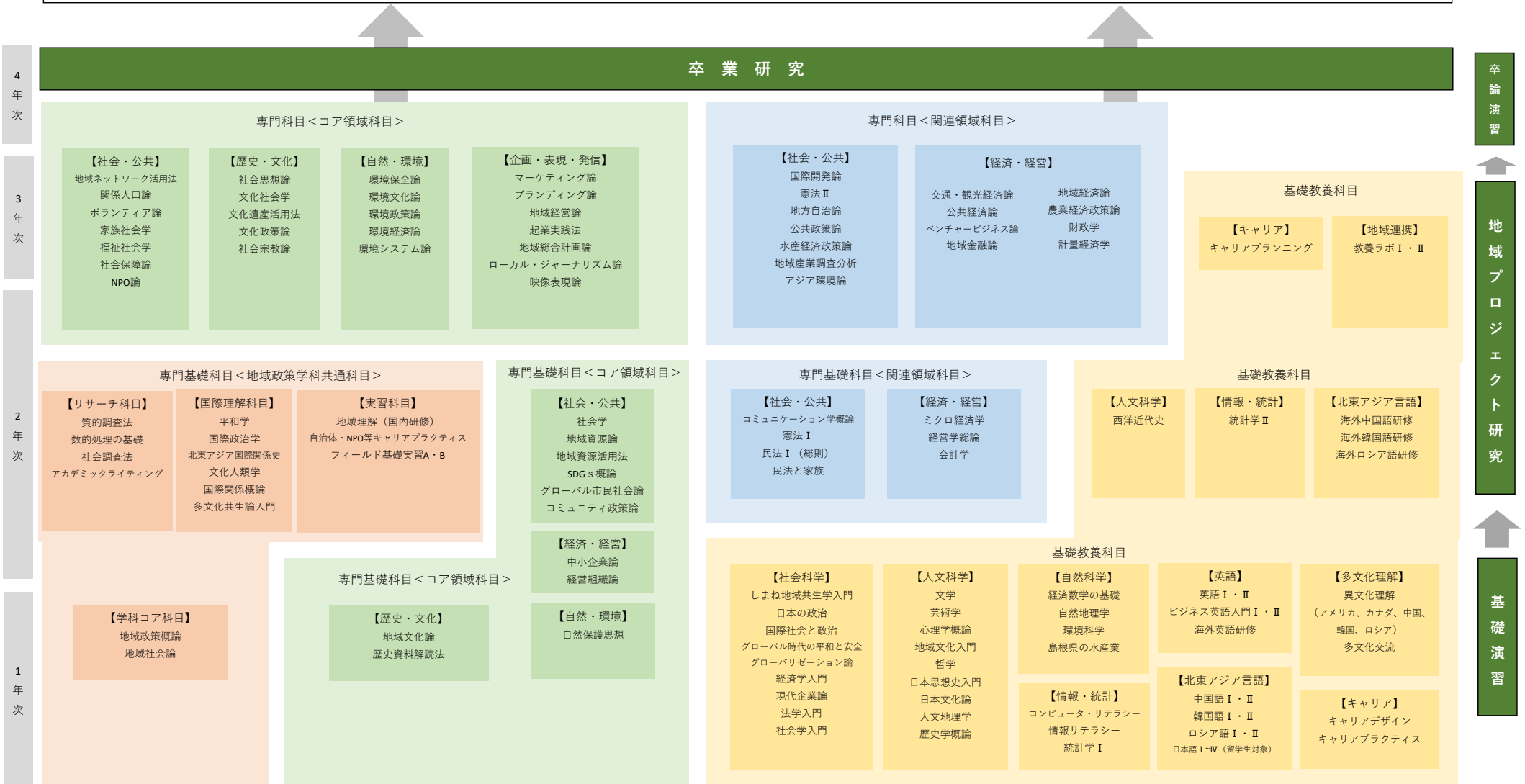
※実際の配当年次は異なる場合があります。

法学、政治学・行政学、社会学の各領域の知識を基に、地域社会の方々と協働しながら、
自律した個人として、公共的な見地から課題の解決策を立案する力を身につけます。



※実際の配当年次は異なる場合があります。

実務家教員を交えた実践的でユニークな科目を通じて自然や歴史文化など、地域が保有する様々な資源を分析し、問題解決に向けたプロジェクトを企画、実行する力を身につけます。



※実際の配当年次は異なる場合があります。

Ⅱ 修学にあたって

1 年間スケジュール

(1) 学修の流れ

本学部で学修をするにあたっての大きな流れは以下のとおりです。

- 履修登録…自分が履修をしようとする科目を登録します。
- 受講…履修登録をした授業は毎回出席してください。履修登録期間中も正規の授業期間ですので、受講希望の科目には、必ず初回講義から出席してください。
- 期末試験…試験に替えて課題提出となる科目もあります。
- 成績評価…科目担当教員が成績評価をします。成績は、学生情報システム（UNIPA）から参照できます。なお、年2回、大学から保護者の方に「成績通知書」を通知します。

(2) 本年度のスケジュール

本年度のスケジュールは以下のとおりです。

学期	項目	1年次	2年次	3年次	4年次
春学期	講義期間	4/4(木)～7/23(火)			
	履修登録	通常講義（1年生）：4/3(水)～4/10(水) 通常講義（2～4年生）：4/1(月)～4/10(水) 集中講義：7/11(木)～7/18(木) 【注】集中講義の履修登録方法については学生情報システム（UNIPA）「お知らせ」で周知します			
	履修取消期間	4/12(金)～4/18(木)			
	期末試験	7/24(水)～7/30(火)			
	集中講義	9/1(日)～9/30(月)			
	成績発表（予定）	9/18（水）			
	秋学期	講義期間	10/1(火)～1/31(金)		
履修登録		通常講義：10/1(火)～10/7(月) 集中講義：12/9(月)～12/13(金) 【注】集中講義の履修登録方法については学生情報システム（UNIPA）「お知らせ」で周知します			
履修取消期間		10/9(水)～10/15(火)			
期末試験		2/3(月)～2/7(金)			
集中講義		2/15(土)～2/28(金)			
成績発表（予定）		3/14(金)			2/27（木）

2 履修登録

「履修登録」とは、各学期（春学期と秋学期）に履修したい授業科目を登録し、自分の「時間割」を作る作業のことです。この「履修の手引き」のほか、配布された「時間割表」及び「シラバス（授業計画書）」を参考にして「履修登録」を行います。

履修登録を怠ると、授業科目の受講者として認められず、試験を受けて単位を修得することができません。

本学部では、コース毎に定めるディプロマ・ポリシーを達成するために体系的な教育課程を編成しています。一方で、学生自らの主体的意思と学修意欲に応じて多様な知識を身につけることができるよう、選択科目も多く設定しています。自分の将来イメージを抱きながら、どのような知識・能力を身につけたいかをよく考え、在学期間における学修目標を立て、計画的かつ効果的な履修を行うことが大切です。

(1) 授業科目の区分

本学部では、教育課程における科目群の大きな括りとして、「基礎教養科目群」「専門基礎科目群」「専門科目群」を設定しており、各授業科目は3つの科目群のいずれかに配置しています。

基礎教養科目群	社会に出る上で必要となる基礎知識を学修する授業科目を幅広く配置します。 浜田キャンパスの共通科目であり、本学部の学生だけでなく、国際関係学部の学生も履修します。
専門基礎科目群	学科・コースで学修していく上で必要となる専門分野の基礎知識などを学修する授業科目を配置します。
専門科目群	学部及び各コースのディプロマ・ポリシーを達成するために必要となる専門分野の知識などを学修する授業科目を配置します。

(2) 授業科目の大別

本学部の授業科目には、講義、演習、実験・実習があり、必修科目、選択必修科目、選択科目に大別されます。卒業要件として、これらの科目の修得単位数をそれぞれ定めています。

必修科目	卒業までに必ず単位を修得しなければならない授業科目
選択必修科目	指定された科目の中から選択し、卒業までに必ず単位を修得しなければならない授業科目
選択科目	科目群の区分ごとに定められているものの中から選択して履修する授業科目

また、本学部の専門基礎科目群及び専門科目群では、コースごとに、それぞれのカリキュラム・ポリシーを踏まえて「コア領域科目」と「関連領域科目」を設定しています。

コア領域科目	各コースの学びの中核となる基本的な概念及び専門的な知識・理論を学ぶことを目的とした授業科目
関連領域科目	「コア領域科目」と併せて履修を推奨する授業科目

(3) 開講の種別

授業には、授業期間中に毎週開講する科目のほかに、隔週で開講されるもの（隔週開講科目）や授業を短期間に集中して行う科目（集中講義科目）があります。

毎週開講	毎週 1 コマの授業を行います（語学の授業の一部は週 2 コマ）。
隔週開講	2 週間に 1 回 2 コマ連続で授業を行います。 （但し、隔週の授業実施とならない場合がありますので、講義日については時間割表の裏面で確認をしてください。）
集中講義	原則として、集中講義期間中に 5 日間程度の期間で 1 日 3 コマないし 4 コマの授業を行います。毎週開講する科目と異なり <u>欠席すると単位未修得となるリスクが高い</u> 講義ですのであらかじめ体調管理等、相当の準備・覚悟の上、履修してください。 ・春学期集中講義期間（9/1～9/30） ・秋学期集中講義期間（2/15～2/28） （なお、土、日、祝祭日や上記集中講義期間外の休業期間中に実施されることもあります。）

(4) 履修登録の時期及び方法

履修登録は、各学期のはじめに自分で行います。

その学期に履修しようとする科目を、パソコンやスマートフォンを使って学生情報システム (UNIPA) の「履修登録画面」から登録をします。

科目によっては、受講できる人数を制限し、事前に受講生を決定することもありますので、学生情報システム (UNIPA) の「お知らせ」で確認してください。

受講を認められていない学生が許可なく履修登録を行っても、その科目の履修は認められませんので注意してください。

(5) 履修取消制度

履修登録した科目を取り消し、受講した後のミスマッチを解消する制度です。

履修を取り消そうとする場合は、下記期間に「履修登録取消願」を学務課教務係へ提出してください。

春学期	4月12日(金) 8時40分 ～ 4月18日(木) 17時15分
秋学期	10月9日(水) 8時40分 ～ 10月15日(火) 17時15分

※集中講義については、初日講義終了後までに提出してください。

※取り消したことによる追加登録は認めません。

(6) 履修登録上の注意事項

ア. 卒業に必要な単位（卒業要件）

本学部を卒業するには 124 単位以上（科目区分ごとに修得しなければならない単位の合計）を修得する必要があります。

さらに、コースによって卒業要件が異なります。自分が在籍するコースの卒業要件を満たすように履修登録を行ってください。

イ. 年間履修登録単位数

1年間で履修登録できる単位数の上限は40単位です。

ただし、下記の授業科目に限り、1年間で履修登録できる40単位を超えて履修することができます。

科目群の名称	授業科目名
基礎教養科目群	「海外英語研修」「海外中国語研修」「海外韓国語研修」「海外ロシア語研修」「異文化理解（アメリカ）」「異文化理解（カナダ）」「異文化理解（中国）」「異文化理解（韓国）」「異文化理解（ロシア）」「キャリアプラクティス」
地域政策学部 専門基礎科目群	「自治体・NPO等キャリアプラクティス」「フィールド基礎実習A」「フィールド基礎実習B」「地域理解（国内研修）」
-	「卒業研究」

単位を修得するために必要な学習時間（予習・復習など）を考慮して、1年間で履修登録できる単位数に制限を設けています。この単位数を超えて履修登録することは原則としてできません。

成績評価が「不可」「放棄」となった科目も、この40単位に含まれます。

ウ. 重複履修登録の禁止

同じコマ（ex.月曜日1時限目＝コマ）に複数科目を履修登録することはできません。また、集中講義についても、1日でも講義日が重なっていると履修はできません。「時間割」は全学年共通です。年度当初に、学務課教務係から周知します。

エ. 既修得単位の再履修

既に単位を修得した授業科目については、原則、再度履修登録することはできません。

オ. 未修得単位の再履修

履修した授業科目の単位を修得できなかったときは、翌年度以降において再度履修登録することができます。（成績評価が「不可」及び「放棄」の場合）

なお、**必修科目の単位を修得できなかったときは、翌年度に必ず再履修**しなくてはなりません。

時間割上の授業科目の配置によっては、必修科目を再履修することにより、他の科目の履修登録ができなくなるなど学修計画に支障が生じることがあります。必修科目の単位については、配当年次に修得するように心がけてください。

カ. 配当年次

時間割表などに記載されている科目の「配当年次」とは、履修を推奨する年次を示しており、その学年以上の学生が履修できる、という意味です。たとえば2年次配当科目であれば、2～4年生が履修することができます。また、1年次配当科目は1年生しか履修できないというわけではありません。

キ. 履修人数の制限

授業の教育効果を高めるため、履修人数の制限を設ける授業科目があります。対象となる授業科目については、学生情報システム（UNIPA）でお知らせしますので、各自よく確認してください。

(7) 語学（英語・北東アジア言語）科目の履修

必修科目の「英語Ⅰ」と「英語Ⅱ」は TOEIC のスコアを用いた能力別のクラス編成となっています。この TOEIC は入学前に受験していただくものですが、やむを得ない事情により受験することができなかった場合は、入学後に再受験の機会を設けますので、期限までに受験してください。再受験の機会を設けたにもかかわらず、期限内に TOEIC を受験しなかった場合は、秋学期の「英語Ⅱ」を履修することができません。期限内に必ず TOEIC を受験するようご留意ください。

語学（英語・北東アジア言語）科目の履修については、入学時の履修ガイダンスにて担当教員から説明があります。

3 授 業

(1) 学期

本学部は、1年を2学期に分けて授業を行っています。(=セメスター制)

春学期(4月～9月) 秋学期(10月～翌年3月)

(2) 授業時間

授業は、1回90分を単位として行います。この単位のことを、本学では「コマ」と言います。1日の1限から6限までの授業時間は以下のとおりです。

第1時限	9:00～10:30	第4時限	14:50～16:20
第2時限	10:40～12:10	第5時限	16:30～18:00
第3時限	13:10～14:40	第6時限	18:10～19:40

ただし、基礎教養科目群の英語の一部の授業は前半クラス・後半クラスに分けて、1回45分の授業を週2回行います。

第1時限	8:55～9:40(前半)	9:45～10:30(後半)
第2時限	10:35～11:20(前半)	11:25～12:10(後半)
	または10:40～11:25(前半)	11:30～12:15(後半)
第3時限	13:05～13:50(前半)	13:55～14:40(後半)
第4時限	14:45～15:30(前半)	15:35～16:20(後半)
第5時限	16:25～17:10(前半)	17:15～18:00(後半)
第6時限	※該当科目なし	

【対象科目】

[春学期] (英語) 英語Ⅰ

[秋学期] (英語) 英語Ⅱ

(3) 休講及び補講等

ア. 休講・補講

授業科目の担当教員が校務、出張、学会出席、病気などにより授業ができなくなった場合には、休講となります。休講した場合には原則として補講を行います。休講・補講については、学生情報システム(UNIPA)でお知らせしますので、毎日確認をするようにしてください。

イ. 教室変更

都合により教室を変更することがあります。この場合も学生情報システム(UNIPA)でお知らせをしますので、毎日、授業開始前に確認をするようにしてください。

(4) 欠席

ア. 1週間以上継続して欠席する(した)場合(公欠にはなりません)

「欠席届」を学務課教務係まで提出してください。疾病又は負傷による場合は診断書を添付してください(欠席届を提出しても公欠にはなりません)。

イ. 公欠の取り扱いにより欠席する場合（公欠になります）

以下に該当する場合は、「欠席届」を学務課教務係まで提出すれば、公欠扱いとなります。欠席期間が1日でも届け出てください。

◇忌引（続柄・葬儀の場所によって公欠日数が違います。下表参照）

死亡した者	限度日数	備考
父母	7日	遠隔地に赴く必要のある場合には、実際に要した往復の日数を限度日数に加算することができます。
祖父母、兄弟姉妹	3日	
曾祖父母、伯叔父母、甥姪	1日	
配偶者	10日	
子	5日	

◇風水震災その他非常災害及び交通機関の事故等（証明できる書類を添付してください。）

◇裁判員制度（裁判員の参加する刑事裁判に関する規則）に基づき、裁判員に選任され、これを受諾したことにより、裁判に参加することが必要となった場合（証明できる書類を添付してください。）

ウ. 学校感染症に罹患し、出席停止を命じられた場合（公欠になります）

次の表に該当する病気にかかった場合は「出席停止」となります。

なお、感染症区分については法令等により変更となります。都度、学内メールや学生情報システム（UNIPA）等で周知します。

感染症区分	病名	出席停止期間
第一種	エボラ出血熱、 特定鳥インフルエンザなど	治癒するまで
第二種	インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ解熱後2日間経過するまで
	新型コロナウイルス感染症	発症後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するか、5日間の抗菌性物質製剤による治療終了まで
	麻疹	解熱後3日間経過するまで
	流行性耳下腺炎	腫れが出た後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	風疹	発疹が消失するまで
	水痘	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状の消退後2日間経過するまで
	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで

感染症区分	病 名	出席停止期間
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、※その他の感染症	病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで

※その他の感染症とは

学校での流行を防ぐため、必要があれば第三種の感染症として措置をとることができる疾患です。出席停止の指示をするかどうかは、地域や学校における感染症の発生・流行の態様などを考慮の上で判断されます。以下に条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる感染症の例を挙げます。

- 溶連菌感染症 ○ウイルス性肝炎 ○手足口病 ○伝染性紅斑（りんご病）
- ヘルパンギーナ ○マイコプラズマ感染症 ○流行性嘔吐下痢症

学校感染症にかかった、又は、かかった疑いがある場合は、学務課学生支援係（0855-24-2202）まで必ず電話連絡をし、自宅等で静養し、外出を控えてください。医療機関で受診後、抗体検査の結果が出る間も公欠扱いとなります（ただし、陽性の場合に限ります）。出席停止期間満了後（回復した後）に「欠席届」に登校許可証明書または医療機関等の診断書を添付して提出することにより、公欠扱いとなります。

電話連絡をして出席停止を指示された日が公欠の起算日となりますので、必ず連絡をしてください。

エ.【4年生以上のみ対象】就職活動により欠席する場合（公欠にはなりません）

就職活動により授業（集中講義は除く）を欠席する場合は、原則として、欠席後1週間以内に科目ごとの「就職活動による欠席届」（4年生以上のみ提出可能）を授業担当教員に提出してください。公欠にはなりません。授業担当教員の判断により適切な措置が講じられる可能性があります。なお、「就職活動による欠席届」を提出する際には就職活動の内容（日時、場所、活動内容）を明らかにして、本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認を受けてください。本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認印がない欠席届は無効になりますので注意してください。

ただし、島根県立大学国際関係学部・地域政策学部履修規程第5条により出席授業時間数が全授業時間数の3分の2に満たない場合には試験を受けることができませんので、就職活動といえども安易に授業を欠席することがないように計画的に就職活動を行うようにしてください。

※「就職活動による欠席届」は本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）にあります。

(参考) 欠席理由別の届出様式と届出先及び添付書類

欠席理由	届出書	提出先	取扱	添付書類
忌引	欠席届	学務課 教務係	公欠	会葬礼状の写し等
風水震災火災その他非常災害及び交通機関の事故等の場合				交通機関の発行する「事故証明」等
裁判員に選任された場合				通知書等
学校感染症に罹患し、出席停止を指示された場合				診断書の写し、登校許可証明書等
疾病などで1週間以上継続して欠席する(した)場合			公欠にはならない	診断書の写し等
「異文化理解」の査証手続きによる場合				(事務局が確認をします)
協定留学の査証手続きによる場合				
災害ボランティア活動に参加する場合				
就職活動による場合 【対象：4年生以上】	就職活動による欠席届	科目担当 教員		(学務課キャリア支援室職員が確認します)

なお、授業日数の少ない集中講義の欠席について、欠席の期間によっては履修(成績)上の配慮ができない場合がありますので注意してください。

各様式については、本部棟1階事務室①番窓口前にあるレターボックスにある用紙を使用して、提出してください。

(5) 異常気象及び自然災害等発生時の授業の取扱い

下記のような異常気象及び自然災害等が発生した場合、原則として休講となります。

- ①浜田市において、気象にかかる特別警報(高潮、波浪を除く)又は台風による暴風警報が発令された場合。
- ②浜田市が野原地区(浜田キャンパス所在地)や浜田市中心部に「避難指示(警戒レベル4)」または「緊急安全確保(警戒レベル5)」を発令した場合。
- ③石見交通(大学線)が運休する場合。ただし、交通事故による運休は休講としない。
- ④浜田市において、「震度5強」以上の地震が発生した場合、又は「震度5弱」であっても大学の施設・設備に大きな被害が出ている場合。
※この場合は、当日又は翌日の授業等を休講とする。

この他の緊急事態が発生し、授業等の実施に支障があると認められる場合は、休講となることもありますので、大学からの案内を確認するようにしてください。

なお、「休講となる場合」「授業を行う場合」はそれぞれ次のとおりです。

■ 1・2限の授業について

午前7時時点で上記①～③が発生している場合・・・1～2限休講

午前7時時点で上記①～③が解除された場合・・・1～2限授業

■ 3～6限の授業について

午前11時時点で上記①～③が発生している場合・・・3～6限休講

午前11時時点で上記①～③が解除された場合解除された場合・・・3～6限授業

※④が発生した場合の授業の休講と再開については、大学からの指示に従ってください。

確認は自分で気象庁の発表する気象情報や各種HP等により確認してください。休講となった授業科目については、後日補講を実施しますので、担当教員からの指示や学生情報システム（UNIPA）を確認するようにしてください。

4 単位数と授業時間数

各授業科目には単位数が定められています。単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを原則とし、授業方法に応じて次の基準により計算しています。

ア. 講義及び演習.....15時間の授業をもって1単位とします。

イ. 実習及び実技.....30時間の授業をもって1単位とします。

文部科学省が定める大学設置基準により、2単位を修得するためには、授業時間90分（2時間とみなす）+授業外学修時間（予習90分+復習90分→各2時間とみなす）の合計6時間の学修を15週にわたって学修する必要があります。すなわち学期中に90時間の学修をもって2単位を修得するということになります。ここで言う「学修時間」とは「授業時間」と「授業外学修時間」を合わせた時間で単に習得の目安です。単位修得にはこの定められた学修時間をこなすことが前提となります。本学部の授業科目のうち、ほとんどの講義科目・演習科目は2単位科目ですが、これは、1回1コマの授業が15週にわたって行われることから、2時間×15週=30時間の授業をもって2単位としているものです。

講義科目（2単位）の単位を修得するには、この「30時間の授業」に加えて、授業外学修時間として「60時間の自習」が必要ということですので、授業だけ出席していれば良いというわけではありません。先生方が課題を課すというのは、この授業外学修時間のために「課題を課す」ということとなります。

5 卒業要件

■卒業認定と学位について

本学に4年以上在学（＝在学要件）し、所定の授業科目を履修し、かつ、卒業に必要な総単位数124単位以上（必修科目、選択必修科目及び選択科目の合計）を修得（＝単位要件）すれば卒業が認定されます。

卒業が認定された場合、以下の学位を取得します。

学部	学科	コース	学位
地域政策学部 【Faculty of Regional Policy Studies】	地域政策学科 【Department of Regional Policy Studies】	地域経済経営コース	学士（地域政策学） 【Bachelor of Regional Policy Studies】
		地域公共コース	
		地域づくりコース	

次のページからは、それぞれのコース（地域経済経営コース、地域公共コース、地域づくりコース）における卒業に必要な履修科目と必要単位数について説明します。

(1)－1 地域経済経営コース教育方針（ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー	<p>1. 知識・理解 経済学、経営学を中心として幅広い知識を修得し、それらの知識を活用しながら、地域の経済や企業等に関する諸現象について多面的に理解することができる。</p> <p>2. 思考・判断 地域の経済や企業等が抱える問題を発見し、経済学、経営学や関連する社会科学の知識を融合・活用しながら、それに対する解決策を構想することができる。</p> <p>3. 態度・実践 地域の経済や企業等の課題解決策を構想するにあたり、地域の様々な主体とコミュニケーションをとり、協力・協働して、フィールドワークを実施したり、実験的な取組を実践したりすることができる。</p> <p>4. 技能・技術 地域の経済や企業等の課題について調査・分析・研究を行い、その成果を、他者に分かりやすく、論理的に発信することができる。</p>
------------	--

教育課程編成の考え方

1 「基礎教養科目群」

(1)「専門基礎科目群」及び「専門科目群」を履修するための基礎的な知識を幅広く修得するとともに、島根地域の基礎知識や地域と関わるために必要な幅広い教養を身につけることを目的として、1年次を中心に社会科学・人文科学・自然科学の「一般教養科目」を配置します。また、情報・統計の基礎を学修するための「情報・統計科目」、外国語の活用能力を高め、多様性を尊重する態度を養うための「語学・多文化理解科目」を、それぞれ配置します。

2 「専門基礎科目群」

(1)地域社会の特性と課題について理解を深め、課題について考察する際の基本的な知識や理論・調査手法・国際的な視野を身につけることを目的として、1年次から2年次を中心に、学科共通科目として「学科コア科目」「リサーチ科目」「国際理解科目」「実習科目」を配置します。

(2)1年次に、少人数ゼミの「地域経済経営基礎演習」を必修科目として配置し、経済学や経営学の方法論及びフィールドワークやPBL（問題解決型学習）に取り組むための基礎的な技法を身につけます。

(3)経済学や経営学の根幹となる基礎知識を学ぶための科目を、地域経済経営コースの「コア領域科目」として配置します。また、「コア領域科目」と併せて履修を推奨する科目を、「関連領域科目」として配置します。

3 「専門科目群」

(1)「専門基礎科目群」と同様、2年次から4年次に、地域経済経営コースの「コア領域科目」及び「関連領域科目」を配置し、体系的な学修を通じて、経済学や経営学を中心とする専門知識と調査・分析技法を獲得し、それらを活用して地域課題の解決策を構想する力を確実に身につけます。

(2)2年次から4年次に、少人数ゼミの「地域マネジメント演習」を必修科目として配置し、行政や支援機関、企業とも連携しPBL（問題解決型学習）やフィールドワークに取り組み、課題解決の方策を探求・比較分析し、結論をわかりやすく提示する力の修得を目指すとともに、コースでの4年間の学修成果のまとめとして、卒業研究に関わる調査・研究を遂行します。

学習内容及び学習方法

・一般教養や、経済学・経営学を中心とする幅広い知識を修得するために、主として講義形式の科目を履修します。

・基礎知識に基づいたPBL（問題解決型学習）やフィールドワークを通じて、課題を発見し、解決の方策を探求する能力を身につけるために、講義形式の科目を幅広く履修するほか、すべての学年で演習などの少人数制の科目を必ず履修します。

(1) -2 地域経済経営コースの教育課程の構成と卒業要件

地域経済経営コースの教育課程及び卒業要件の概要は、以下のとおりです。

区分	必修	選択 必修	選択	区分 計	備考
基礎教養科目群	6		22	28	
一般教養科目	-	-	22	28	【推奨】「経済学入門」「現代企業論」
語学・多文化理解科目	4	-			【必修】「英語Ⅰ・Ⅱ」
キャリア科目	2	-			【必修】「キャリアプランニング」
専門基礎科目群	12	16	4	32	
学科コア科目	4	4	4	32	【必修】「地域政策概論」、「地域社会論」
リサーチ科目					【選択必修】「リサーチ・国際理解・実習」の科目から4単位
国際理解科目					
実習科目					
地域経済経営コース コア領域科目	6	8			【必修】「マクロ経済学」「ミクロ経済学」 「経営学総論」
地域経済経営コース 関連領域科目	-	4			
演習科目	2	-	-		【必修】「地域経済経営基礎演習」
専門科目群	12	30	8	50	
地域経済経営コース コア領域科目	-	20	8	50	
地域経済経営コース 関連領域科目	-	10			
演習科目	12	-			-
広領域科目	-	-	10	10	①自コースの「コア領域科目及び関連領域科目」以外の科目、②各科目群の卒業要件単位数を超えて履修するもの
卒業研究	4	-	-	4	
計	34	46	44	124	

(注1) 専門基礎科目および専門科目群において、必修科目以外の単位を修得した場合、上記の表の区分ごとに【選択必修】の単位として算入されます。【選択必修】の必要な単位を超えて単位修得した科目の単位は、各科目群ごとに【選択】の単位として算入されます。なお、各科目群の卒業要件単位数を超えた場合は、【広領域科目】の②(各科目群の卒業要件単位数を超えて履修するもの)として算入されます。

(注2) 広領域科目の要件単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な124単位に含まれない「要件外(自由科目)」の単位として算入されます。

(1) - 3 地域経済経営コースの基礎教養科目群について

基礎教養科目群は、浜田キャンパスの共通科目であり、本学部の学生だけでなく、国際関係学部の学生も履修します。基礎教養科目群に配置された授業科目の履修にあたっては、以下の内容について十分確認してください。

① 英語科目

ア 必修科目の履修

次の科目は必修科目です。配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
基礎教養科目群	英語Ⅰ	1年春学期	2
	英語Ⅱ	1年秋学期	2

イ 「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」のクラス編成及び授業時間について

「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」については、入学時に実施する TOEIC 試験の成績によりクラス編成を行います。クラス編成は、学生情報システム (UNIPA) でお知らせしますので、配布された時間割表で指定されたクラス、教員のコマ及び教室を確認し、授業に出席してください。期限内に TOEIC を受験しなかった場合、「英語Ⅱ」を履修することはできません。

また、「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」の授業は前半クラス・後半クラスに分けて、1回45分の授業を週2回行いますので、注意してください。

第1時限	8:55～9:40 (前半)	9:45～10:30 (後半)
第2時限	10:35～11:20 (前半)	11:25～12:10 (後半)
第3時限	13:05～13:50 (前半)	13:55～14:40 (後半)
第4時限	14:45～15:30 (前半)	15:35～16:20 (後半)
第5時限	16:25～17:10 (前半)	17:15～18:00 (後半)
第6時限	※該当科目なし	

② 北東アジア言語科目

ア 選択科目の履修

北東アジア言語科目は選択科目です。「中国語」「韓国語」「ロシア語」に分かれており、希望する言語(科目)があれば、履修します。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
基礎教養科目群	中国語Ⅰ	1年春学期	2
	韓国語Ⅰ	1年春学期	2
	ロシア語Ⅰ	1年春学期	2
	中国語Ⅱ	1年秋学期	2
	韓国語Ⅱ	1年秋学期	2
	ロシア語Ⅱ	1年秋学期	2

イ 「中国語」「韓国語」「ロシア語」のクラス編成及び授業時間について

基礎教養科目群の北東アジア言語科目（中国語、韓国語及びロシア語のⅠ・Ⅱ）のクラス編成は、学生情報システム（UNIPA）でお知らせします。

ウ 「日本語」の履修（留学生のみ）【計8単位】

本学部の授業は、基本的に日本語で実施します。留学生の皆さんには、日本語についての理解力を高めるため「日本語Ⅰ～Ⅳ」の履修を推奨します。修得した単位は基礎教養科目群の選択科目の単位として取り扱います。

③ 必修科目（英語科目を除く）及びコース推奨科目

次の科目は必修科目又は履修を推奨する科目です。配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
基礎教養科目群	キャリアプランニング	3年春学期	2	必修科目
	経済学入門	1年春学期	2	履修を推奨する科目（選択科目として単位認定）
	現代企業論	1年秋学期	2	

(1) -4 地域経済経営コースの専門基礎科目群及び専門科目群について

① 学科共通科目について

本学部の学生が共通して学修する科目として、専門基礎科目群に「学科コア科目」、「リサーチ科目」、「国際理解科目」及び「実習科目」を配置しています。このうち、以下の授業科目は学科必修科目となりますので、配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
専門基礎科目群	地域政策概論	1年春学期	2	学科コア科目
	地域社会論	1年秋学期	2	

また、「リサーチ科目」、「国際理解科目」及び「実習科目」に配置される授業科目から最低4単位を修得（選択必修）する必要があります。具体的な授業科目名は「授業科目表」で確認してください。

② コース別履修科目（コア領域科目及び関連領域科目）について

コースごとに、それぞれのカリキュラム・ポリシーを踏まえて「コア領域科目」と「関連領域科目」を設定しています。このうち、以下の授業科目はコース必修科目となりますので、配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
専門基礎科目群	マクロ経済学	1年秋学期	2	コア領域科目
	ミクロ経済学	1年秋学期	2	
	経営学総論	1年春学期	2	

また、コア領域科目及び関連領域科目について、科目群ごとに所定の単位を修得（選択必修）する必要があります。具体的な授業科目名は「授業科目表」で確認してください。

20 ページの「(1) - 2 地域経済経営コースの教育課程の構成と卒業要件」を必ず確認して、履修計画を立ててください。

(1) - 5 地域経済経営コースの演習科目の履修について

本学部では、1年次から4年次まで、それぞれのコースの特色を活かした少人数単位の教育を通じて、高度な専門知識を活かした応用力を身につけることを目的としており、学部の特任教員が役割を分担しながら、演習形式で以下の授業を行います。

演習科目では、演習（ゼミ）担当教員ごとのクラスに分かれて履修します。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
専門基礎科目群	地域経済経営基礎演習	1年秋学期	2
専門科目群	地域マネジメント演習Ⅰ	2年春学期	2
	地域マネジメント演習Ⅱ	2年秋学期	2
	地域マネジメント演習Ⅲ	3年春学期	2
	地域マネジメント演習Ⅳ	3年秋学期	2
	地域マネジメント演習Ⅴ	4年春学期	2
	地域マネジメント演習Ⅵ	4年秋学期	2

① 「地域経済経営基礎演習」

ア 「地域経済経営基礎演習」とは

「地域経済経営基礎演習」は、1年次秋学期に配当された少人数教育のゼミナールで、文献の探索、統計資料の探索・収集と分析、図表作成の技法、レポート作成の技法、プレゼンテーションの技法といった、2年次以降の専門的な学びの基盤となる知識やスキルを身につけるとともに、経済学や経営学の方法論を学ぶことを目的とした必修科目です。

イ 「地域経済経営基礎演習」のクラス分け

1年次春学期の「地域政策概論」のなかで説明します。

② 「地域マネジメント演習」

ア 「地域マネジメント演習」とは

専門科目として2年次から4年次に「地域マネジメント演習」を配置し、必修科目に指定します。

「地域マネジメント演習」は同一教員の指導の下に2年次から4年次まで履修し、本学部での学びの集大成として成果をまとめる「卒業研究」の土台となる重要な科目です。

イ クラスの選択方法クラス決定までのスケジュールについて

1年次春学期の「地域政策概論」のなかで説明します。

ウ クラスの変更について

原則として演習のクラスは変更することはできません。ただし、2年次から3年次に進む段階で、進路変更等によりどうしてもクラスの変更を行いたい場合は、クラスの担当教員か学務課教務係に相談してください。

(1)－6 地域経済経営コースの広領域科目の履修上の注意事項

卒業要件の124単位のうち10単位について、「広領域科目」として、本学部の「基礎教養科目群」、「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の中から科目群に制限されずに自由に選択履修できるようにしています。

専門基礎科目群及び専門科目群のうち、本コースのコア領域科目及び関連領域科目に属さない授業科目も広領域科目として履修できます。

(1)－7 地域経済経営コースのその他、履修上の注意事項

① 先修条件のある科目の履修について

授業科目によっては、当該科目を受講するまでに履修しておく必要がある（又は履修が推奨される）科目を設定しています。シラバスに記載していますので、履修を希望する場合は注意してください。

(2) -1 地域公共コース教育方針（ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー	<ol style="list-style-type: none">1. 知識・理解 法、政治・行政、社会の領域を中心として、幅広く知識を修得し、それらの知識を活用しながら、公共的な諸課題を構成する事象について多面的に理解することができる。2. 思考・判断 生活圏である地域の持続と発展、そして人々の共生に向けて、法、政治・行政、社会の領域と政策、環境、経済、経営等の多様な領域の知識を融合・活用しながら、公共的な諸課題に対する解決策を構想することができる。3. 態度・実践 自由、人権、法の下での平等、公正、多様性の尊重、平和等の規範的概念を適切に運用し、地域社会の多様なステークホルダーと協働しながら、多様な課題に関して公共的見地から議論を展開することができる。4. 技能・技術 多様かつ広範な事実認識に立脚しながら、課題について考察し、その成果を、自律した個人として、公共的見地から発信することができる。
------------	--

教育課程編成の考え方

1 「基礎教養科目群」

(1)「専門基礎科目群」及び「専門科目群」を履修するための基礎的な知識を幅広く修得するとともに、公共的な見地から課題の解決策を立案するために必要な広範な知識を身につけることを目的として、1年次を中心に社会科学・人文科学・自然科学の「一般教養科目」を配置します。また、情報・統計の基礎を学修するための「情報・統計科目」、外国語の活用能力を高め、多様性を尊重する態度を養うための「語学・多文化理解科目」を、それぞれ配置します。

2 「専門基礎科目群」

(1)地域社会の特性と課題について理解を深め、課題について考察する際の基本的な知識や理論・調査手法・国際的な視野を身につけることを目的として、1年次から2年次を中心に、学科共通科目として「学科コア科目」「リサーチ科目」「国際理解科目」「実習科目」を配置します。

(2)1年次に、少人数ゼミの「地域公共基礎演習」を必修科目として配置し、法、政治・行政、社会の演習テーマにより、広く世界と日本の問題を視野に入れつつ、公共的な観点からそれぞれの学問分野の基礎的な知識・思考力を身につけるとともに、自分の考えをまとめ、発表し、議論する基礎的な素養を身につけます。

(3)法、政治・行政、社会の各学問領域の基本的な概念・知識・理論を学ぶための科目を、地域公共コースの「コア領域科目」として配置します。また、「コア領域科目」と併せて履修を推奨する科目を、「関連領域科目」として配置します。

3 「専門科目群」

(1)「専門基礎科目群」と同様、2年次から4年次に、地域公共コースの「コア領域科目」及び「関連領域科目」を配置し、体系的な学修を通じて、法、政治・行政、社会の各学問領域を中心とする高度な専門知識を確実に身につけます。

(2)2年次から4年次に、少人数ゼミの「専門演習」を必修科目として配置し、法、政治・行政、社会の演習テーマに関する高度な専門知識の修得を目指すとともに、コースでの4年間の学修成果のまとめとして、卒業研究に関わる調査・研究を遂行します。

学習内容及び学習方法

- ・一般教養や、公共的諸課題を多面的に理解するための基礎・専門知識を修得するために、主として講義形式の科目を履修します。
- ・法、政治・行政、社会などの領域における多様な知識を融合させ、活用する力（知的統合力）と多様な課題に関して公共的な見地から議論を展開する力を身につけるために、講義形式の科目を幅広く履修し、さらにすべての学年において演習などの少人数制の科目を必ず履修します。

(2) -2 地域公共コースの教育課程の構成と卒業要件

地域公共コースの教育課程及び卒業要件の概要は、以下のとおりです。

区分	必修	選択 必修	選択	区分 計	備考
基礎教養科目群	6		22	28	
一般教養科目	-	-	22		【推奨】「日本の政治」、「法学入門」、 「社会学入門」
語学・多文化理解科目	4	-			【必修】「英語Ⅰ・Ⅱ」
キャリア科目	2	-			【必修】「キャリアプランニング」
専門基礎科目群	12	16	4	32	
学科コア科目 リサーチ科目 国際理解科目 実習科目	4	4	4		【必修】「地域政策概論」、「地域社会論」 【選択必修】「リサーチ・国際理解・実習」の科目から4単位
地域公共コース コア領域科目					6
地域公共コース 関連領域科目	-	4			
演習科目	2	-			-
専門科目群	12	30	8	50	
地域公共コース コア領域科目	-	20	8		【必修】「専門演習Ⅰ～Ⅵ」
地域公共コース 関連領域科目	-	10			
演習科目	12	-			
広領域科目	-	-	10	10	①自コースの「コア領域科目及び関連領域科目」以外の科目、②各科目群の卒業要件単位数を超えて履修するもの
卒業研究	4	-	-	4	
計	34	46	44	124	

(注1) 専門基礎科目および専門科目群において、必修科目以外の単位を修得した場合、上記の表の区分ごとに【選択必修】の単位として算入されます。【選択必修】の必要な単位を超えて単位修得した科目の単位は、各科目群ごとに【選択】の単位として算入されます。なお、各科目群の卒業要件単位数を超えた場合は、【広領域科目】の②（各科目群の卒業要件単位数を超えて履修するもの）として算入されます。

(注2) 広領域科目の要件単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な124単位に含まれない「要件外（自由科目）」の単位として算入されます。

(2)－3 地域公共コースの基礎教養科目群について

基礎教養科目群は、浜田キャンパスの共通科目であり、本学部の学生だけでなく、国際関係学部の学生も履修します。基礎教養科目群に配置された授業科目の履修にあたっては、以下の内容について十分確認してください。

① 英語科目

ア 必修科目の履修

次の科目は必修科目です。配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
基礎教養科目群	英語Ⅰ	1年春学期	2
	英語Ⅱ	1年秋学期	2

イ 「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」のクラス編成及び授業時間について

「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」については、入学時に実施する TOEIC 試験の成績によりクラス編成を行います。クラス編成は、学生情報システム (UNIPA) でお知らせしますので、配布された時間割表で指定されたクラス、教員のコマ及び教室を確認し、授業に出席してください。期限内に TOEIC を受験しなかった場合、「英語Ⅱ」を履修することはできません。

また、「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」の授業は前半クラス・後半クラスに分けて、1回45分の授業を週2回行いますので、注意してください。

第1時限	8:55～9:40 (前半)	9:45～10:30 (後半)
第2時限	10:35～11:20 (前半)	11:25～12:10 (後半)
第3時限	13:05～13:50 (前半)	13:55～14:40 (後半)
第4時限	14:45～15:30 (前半)	15:35～16:20 (後半)
第5時限	16:25～17:10 (前半)	17:15～18:00 (後半)
第6時限	※該当科目なし	

② 北東アジア言語科目

ア 選択科目の履修

北東アジア言語科目は選択科目です。「中国語」「韓国語」「ロシア語」に分かれており、希望する言語(科目)があれば、履修します。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
基礎教養科目群	中国語Ⅰ	1年春学期	2
	韓国語Ⅰ	1年春学期	2
	ロシア語Ⅰ	1年春学期	2
	中国語Ⅱ	1年秋学期	2
	韓国語Ⅱ	1年秋学期	2
	ロシア語Ⅱ	1年秋学期	2

イ 「中国語」「韓国語」「ロシア語」のクラス編成及び授業時間について

基礎教養科目群の北東アジア言語科目（中国語、韓国語及びロシア語のⅠ・Ⅱ）のクラス編成は、学生情報システム（UNIPA）でお知らせします。

ウ 「日本語」の履修（留学生のみ）【計8単位】

本学部の授業は、基本的に日本語で実施します。留学生の皆さんには、日本語についての理解力を高めるため「日本語Ⅰ～Ⅳ」の履修を推奨します。修得した単位は基礎教養科目群の選択科目の単位として取り扱います。

③ 必修科目（英語科目を除く）及びコース推奨科目

次の科目は必修科目又は履修を推奨する科目です。配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
基礎教養科目群	キャリアプランニング	3年春学期	2	必修科目
	日本の政治	1年春学期	2	履修を推奨する科目（選択科目として単位認定）
	法学入門	1年春学期	2	
	社会学入門	1年秋学期	2	

(2) -4 地域公共コースの専門基礎科目群及び専門科目群について

① 学科共通科目について

本学部の学生が共通して学修する科目として、専門基礎科目群に「学科コア科目」、「リサーチ科目」、「国際理解科目」及び「実習科目」を配置しています。このうち、以下の授業科目は学科必修科目となりますので、配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
専門基礎科目群	地域政策概論	1年春学期	2	学科コア科目
	地域社会論	1年秋学期	2	

また、「リサーチ科目」、「国際理解科目」及び「実習科目」に配置される授業科目から最低4単位を修得（選択必修）する必要があります。具体的な授業科目名は「授業科目表」で確認してください。

② コース別履修科目（コア領域科目及び関連領域科目）について

コースごとに、それぞれのカリキュラム・ポリシーを踏まえて「コア領域科目」と「関連領域科目」を設定しています。このうち、以下の授業科目はコース必修科目となりますので、配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
専門基礎科目群	民法Ⅰ（総則）	1年秋学期	2	コア領域科目
	行政学	1年秋学期	2	
	社会学	1年秋学期	2	

また、コア領域科目及び関連領域科目について、科目群ごとに所定の単位を修得（選択必修）する必要があります。具体的な授業科目名は「授業科目表」で確認してください。

27 ページの「(2) - 2 地域公共コースの教育課程の構成と卒業要件」を必ず確認して、履修計画を立ててください。

(2) - 5 地域公共コースの演習科目の履修について

本学部では、1年次から4年次まで、それぞれのコースの特色を活かした少人数制の教育を通じて、高度な専門知識を活かした応用力を身につけることを目的に、学部の専任教員が役割を分担しながら、演習形式で以下の授業を行います。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
専門基礎科目群	地域公共基礎演習	1年秋学期	2
専門科目群	専門演習Ⅰ	2年春学期	2
	専門演習Ⅱ	2年秋学期	2
	専門演習Ⅲ	3年春学期	2
	専門演習Ⅳ	3年秋学期	2
	専門演習Ⅴ	4年春学期	2
	専門演習Ⅵ	4年秋学期	2

① 「地域公共基礎演習」

ア 「地域公共基礎演習」とは

「地域公共基礎演習」（必修科目）は、1年次秋学期に必修科目として履修する少人数制のゼミナールです。地域公共コースの教員の指導のもと、資料の探索や資料分析、レポート作成やプレゼンテーションの技法など、大学の学習に必要な基礎的な知識やスキルについて学びます。この演習の履修を通して、地域公共コースの学生に求められる初歩的な知識を身に付けます。

イ 「地域公共基礎演習」のクラス分け

1年次春学期の「地域政策概論」のなかで、「地域公共基礎演習」の担当教員がそれぞれの演習内容・運営方針を紹介します。また、「地域政策概論」のなかで、演習クラスの希望調査等について説明します。

② 「専門演習」

ア 「専門演習」とは

「専門演習」は、必修科目として2年次から4年次にかけて履修する少人数制のゼミナールです。地域公共コースの教員の指導のもと、専門的知識や分析枠組み等を学びながら、多様な社会的課題について議論していきます。

さらに、「専門演習」は、本学部の学びの集大成として取り組む「卒業研究」につながる重要な科目です。「専門演習」で培った思考力や分析力などは、本学の学びの核となります。

イ クラスの選択方法及びクラス決定までのスケジュールについて

各教員が担当する「専門演習」の内容・運営方針の説明、演習クラスの希望調査から演習クラスの決定は、1年次の秋学期に行う予定です。演習クラスの決定までのスケジュールについては、1年次秋学期の「地域公共基礎演習」で伝達します。

ウ 「専門演習」のクラスの変更について

原則として「専門演習」のクラスは変更することはできません。ただし、2年次から3年次に進む段階で、進路変更等によりどうしても「専門演習」のクラスの変更を行いたい場合は、学務課教務係もしくは、自分が所属している「専門演習」の担当教員に相談し、2月末日までに「指導教員変更願」をコース長に提出してください。

(2)－6 地域公共コースの広領域科目の履修上の注意事項

卒業要件の124単位のうち10単位について、「広領域科目」として、本学部の「基礎教養科目群」、「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の中から科目群に制限されずに自由に選択履修できるようにしています。

専門基礎科目群及び専門科目群のうち、本コースのコア領域科目及び関連領域科目に属さない授業科目も広領域科目として履修できます。

(2)－7 地域公共コースのその他、履修上の注意事項

① 先修条件のある科目の履修について

授業科目によっては、当該科目を受講するまでに履修しておく必要がある（又は履修が推奨される）科目を設定しています。シラバスに記載していますので、履修を希望する場合は注意してください。

(3) -1 地域づくりコース教育方針（ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー）

ディ プロ マ ・ ポ リ シ ー	<p>1. 知識・理解</p> <p>(1)地域課題が起こるメカニズムを、社会学や経済学などの社会科学系の科目を中心に、体系的に理解することができる。</p> <p>(2)地域が保有するさまざまな資源を、自然科学的な視点、社会学的な視点、人文学的な視点からとらえることができる。</p> <p>2. 思考・判断</p> <p>(1)地域が保有する資源（社会関係資本、自然資源、歴史文化資源等）を、社会経済情勢や持続可能な観点から評価することができる。</p> <p>(2)地域が抱える問題に対し、地域の状況や保有する資源の価値を整理した上で、地域資源を活用した問題解決策を構想することができる。</p> <p>3. 態度・実践</p> <p>地域社会が抱える問題の解決に向けたプロジェクトを、学生同士や地域のさまざまなステークホルダー、地域住民と協力・協働しながら、率先して企画・立案・実行することができる。</p> <p>4. 技能・技術</p> <p>(1)地域資源について、ヒアリングや統計を用いて分析することができる。</p> <p>(2)プロジェクトで取り組んだ成果を、コンペやシンポジウム等で分かりやすく発信することができる。</p>
--	---

教育課程編成の考え方

1 「基礎教養科目群」

(1)「専門基礎科目群」及び「専門科目群」を履修するための基礎的な知識を幅広く修得するとともに、地域の見落とされている価値や資源を再発見するために必要な「視野の広さ」を身につけることを目的として、1年次を中心に社会科学・人文科学・自然科学の「一般教養科目」を配置します。また、情報・統計の基礎を学修するための「情報・統計科目」、外国語の活用能力を高め、多様性を尊重する態度を養うための「語学・多文化理解科目」を、それぞれ配置します。

2 「専門基礎科目群」

(1)地域社会の特性と課題について理解を深め、課題について考察する際の基本的な知識や理論・調査手法・国際的な視野を身につけることを目的として、1年次から2年次を中心に、学科共通科目として「学科コア科目」「リサーチ科目」「国際理解科目」「実習科目」を配置します。

(2)1年次に、少人数単位で開講する「地域づくり基礎演習」を必修科目として配置し、地域の様々な資源（社会関係資本、自然資本、歴史文化資源等）を分析するための基礎的な手法を理解するとともに、自分の考えをまとめ、発表し、議論する基礎的な素養を身につけます。

(3)地域を総合的な視点からとらえる考え方を学び、地域資源がもつ価値やその活用方法に関する基礎的な知識を修得するための科目を、地域づくりコースの「コア領域科目」として配置します。また、「コア領域科目」と併せて履修を推奨する科目を、「関連領域科目」として配置します。

3 「専門科目群」

(1)「専門基礎科目群」と同様、2年次から4年次に、地域づくりコースの「コア領域科目」及び「関連領域科目」を配置し、体系的な学修を通じて、地域が保有する未発見資源の評価・活用方法に関する高度な専門知識を確実に身につけます。

(2)2年次から3年次に、現実に社会が直面している問題をテーマとする「地域プロジェクト研究」を必修科目として配置し、プロジェクトの企画・立案・実行の流れを理解するとともに、それぞれのテーマに関する高度で実践的な専門知識を身につけます。また、4年次には、高度な専門知識を活用して、卒業研究に関わる調査・研究を遂行します。

学習内容及び学習方法

- ・一般教養や、地域の様々な資源の評価・活用方法に関する基礎・専門知識を修得するために、映像や文献等を活用した講義形式の科目を履修します。
- ・地域の課題発見や見落とされている地域資源の発掘など、地域における実践力を身につけるために、県内企業や個性的な活動をしている県内外の団体などをフィールドとした実習・演習科目を履修します。
- ・地域と協力、協働しながら、率先して地域課題の解決に取り組む「自立」した能力を身につけるために、すべての学年で演習などの少人数制の科目を必ず履修します。

(3) -2 地域づくりコースの教育課程の構成と卒業要件

地域づくりコースの教育課程及び卒業要件の概要は、以下のとおりです。

区分	必修	選択 必修	選択	区分 計	備考
基礎教養科目群	6		22	28	
一般教養科目	-	-	22		
語学・多文化理解科目	4	-			【必修】「英語Ⅰ・Ⅱ」
キャリア科目	2	-			【必修】「キャリアプランニング」
専門基礎科目群	14	16	4	34	
学科コア科目 リサーチ科目 国際理解科目 実習科目	6	4	4		【必修】「地域政策概論」「地域社会論」 「アカデミックライティング」 【選択必修】「リサーチ・国際理解・実習」の科目から4単位
地域づくりコース コア領域科目					6
地域づくりコース 関連領域科目	-	4			
演習科目	2	-			-
専門科目群	12	30	6	48	
地域づくりコース コア領域科目	-	20	6		
地域づくりコース 関連領域科目	-	10			
演習科目	12	-			-
広領域科目	-	-	10	10	①自コースの「コア領域科目及び関連領域科目」以外の科目、②各科目群の卒業要件単位数を超えて履修するもの
卒業研究	4	-	-	4	
計	36	46	42	124	

(注1) 専門基礎科目および専門科目群において、必修科目以外の単位を修得した場合、上記の表の区分ごとに【選択必修】の単位として算入されます。【選択必修】の必要な単位を超えて単位修得した科目の単位は、各科目群ごとに【選択】の単位として算入されます。なお、各科目群の卒業要件単位数を超えた場合は、【広領域科目】の②（各科目群の卒業要件単位数を超えて履修するもの）として算入されます。

(注2) 広領域科目の要件単位数を超えて修得した単位は、卒業に必要な124単位に含まれない「要件外（自由科目）」の単位として算入されます。

(3) -3 地域づくりコースの基礎教養科目群について

基礎教養科目群は、浜田キャンパスの共通科目であり、本学部の学生だけでなく、国際関係学部の学生も履修します。基礎教養科目群に配置された授業科目の履修にあたっては、以下の内容について十分確認してください。

① 英語科目

ア 必修科目の履修

次の科目は必修科目です。配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
基礎教養科目群	英語Ⅰ	1年春学期	2
	英語Ⅱ	1年秋学期	2

イ 「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」のクラス編成及び授業時間について

「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」については、入学時に実施する TOEIC 試験の成績によりクラス編成を行います。クラス編成は、学生情報システム (UNIPA) でお知らせしますので、配布された時間割表で指定されたクラス、教員のコマ及び教室を確認し、授業に出席してください。期限内に TOEIC を受験しなかった場合、「英語Ⅱ」を履修することはできません。

また、「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」の授業は前半クラス・後半クラスに分けて、1回45分の授業を週2回行いますので、注意してください。

第1時限	8:55～9:40 (前半)	9:45～10:30 (後半)
第2時限	10:35～11:20 (前半)	11:25～12:10 (後半)
第3時限	13:05～13:50 (前半)	13:55～14:40 (後半)
第4時限	14:45～15:30 (前半)	15:35～16:20 (後半)
第5時限	16:25～17:10 (前半)	17:15～18:00 (後半)
第6時限	※該当科目なし	

② 北東アジア言語科目

ア 選択科目の履修 (必修科目ではありません)

北東アジア言語科目は選択科目です。「中国語」「韓国語」「ロシア語」に分かれており、希望する言語 (科目) があれば、履修します。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
基礎教養科目群	中国語Ⅰ	1年春学期	2
	韓国語Ⅰ	1年春学期	2
	ロシア語Ⅰ	1年春学期	2
	中国語Ⅱ	1年秋学期	2
	韓国語Ⅱ	1年秋学期	2
	ロシア語Ⅱ	1年秋学期	2

イ 「中国語」「韓国語」「ロシア語」のクラス編成及び授業時間について

基礎教養科目群の北東アジア言語科目（中国語、韓国語及びロシア語のⅠ・Ⅱ）のクラス編成は、学生情報システム（UNIPA）でお知らせします。

ウ 「日本語」の履修（留学生のみ）【計8単位】

本学部の授業は、基本的に日本語で実施します。留学生の皆さんには、日本語についての理解力を高めるため「日本語Ⅰ～Ⅳ」の履修を推奨します。修得した単位は基礎教養科目群の選択科目の単位として取り扱います。

③ 必修（英語科目を除く）科目

次の授業科目は必修科目です。配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
基礎教養科目群	キャリアプランニング	3年春学期	2	必修科目

(3) -4 地域づくりコースの専門基礎科目群及び専門科目群について

① 学科共通科目について

本学部の学生が共通して学修する科目として、専門基礎科目群に「学科コア科目」、「リサーチ科目」、「国際理解科目」及び「実習科目」を配置しています。このうち、以下の授業科目は学科必修科目となりますので、配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
専門基礎科目群	地域政策概論	1年春学期	2	学科コア科目
	地域社会論	1年秋学期	2	
	アカデミックライティング	1年春学期	2	リサーチ科目

また、「リサーチ科目」、「国際理解科目」及び「実習科目」に配置される授業科目から最低4単位を修得（選択必修）する必要があります。具体的な授業科目名は「授業科目表」で確認してください。

② コース別履修科目（コア領域科目及び関連領域科目）について

コースごとに、それぞれのカリキュラム・ポリシーを踏まえて「コア領域科目」と「関連領域科目」を設定しています。このうち、以下の授業科目はコース必修科目となりますので、配当年次に履修するよう心掛けてください。

科目区分	科目名	配当年次	単位数	備考
専門基礎科目群	地域資源論	1年秋学期	2	コア領域科目
	SDGs概論	1年春学期	2	
	社会学	1年秋学期	2	

また、コア領域科目及び関連領域科目について、科目群ごとに所定の単位を修得（選択必修）する必要があります。具体的な授業科目名は「授業科目表」で確認してください。

34 ページの「(3) -2 地域づくりコースの教育課程の構成と卒業要件」を必ず確認して、履修計画を立ててください。

(3) -5 地域づくりコースの演習科目の履修について

本学部では、1年次から4年次まで、それぞれのコースの特色を活かした少人数単位の教育を通じて、高度な専門知識を活かした応用力を身につけることを目的に、学部の専任教員が役割を分担しながら、演習形式で以下の授業を行います。

演習科目では、演習（ゼミ）担当教員ごとのクラスに分かれて履修します。

科目区分	科目名	配当年次	単位数
専門基礎科目群	地域づくり基礎演習	1年秋学期	2
専門科目群	地域プロジェクト研究ⅠA	2年春学期	2
	地域プロジェクト研究ⅠB	2年秋学期	2
	地域プロジェクト研究Ⅱ	3年（通年）	4
	卒論演習Ⅰ	4年春学期	2
	卒論演習Ⅱ	4年秋学期	2

① 「地域づくり基礎演習」

ア 「地域づくり基礎演習」とは

「地域づくり基礎演習」は、1年次秋学期に配当された少人数教育のゼミナールで、設定された課題に対して毎回発表し、教員がアドバイスをするという演習形式での授業を通じて、大学教育で求められる水準の基礎的なアカデミック・スキルと知識を身につけ、社会をより良く理解することを目的とした必修科目です。

イ 「地域づくり基礎演習」のクラス分け

4つのクラスに分かれます。クラス分けの方法は、第1回目の「地域づくり基礎演習」のなかで説明します。第1回目は、地域づくりコース全員が一つの同じ教室で行います。

② 「地域プロジェクト研究」

ア 「地域プロジェクト研究」とは

専門科目として2年次と3年次に「地域プロジェクト研究」を配置し、必修科目に指定します。

「地域プロジェクト研究」は、コース所属教員と学生がプロジェクトチームを結成し、各自が選択した分野の問題について、知恵を出し合って企画を立案し、それを実践しながら具体的な解決方法について学ぶことを目的とした科目です。

2年次には、教員と学生が半期でプロジェクトチームを結成し課題に取り組む「地域プロジェクト研究ⅠA」及び「地域プロジェクト研究ⅠB」を、3年次には、教員と学生が通年でプロジェクトチームを結成し課題に取り組む「地域プロジェクト研究Ⅱ」を配置しています。

イ プロジェクトのクラス分けの方法について

1年次秋学期の「地域づくり基礎演習」のなかで説明します。

③ 「卒論演習」

ア 「卒論演習」とは

専門科目として4年次に「卒論演習」を配置し、必修科目に指定します。

春学期に配置される「卒論演習Ⅰ」及び秋学期に配置される「卒論演習Ⅱ」を同一教員の指導の下に履修し、本学部での学びの集大成として成果をまとめる「卒業研究」につながる重要な科目です。

イ クラスの選択方法クラス決定までのスケジュールについて

1年次秋学期の「地域づくり基礎演習」のなかで説明します。

ウ クラスの変更について

原則として演習のクラスは変更することはできません。

(3) -6 地域づくりコースの広領域科目の履修上の注意事項

卒業要件の124単位のうち10単位について、「広領域科目」として、本学部の「基礎教養科目群」、「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の中から科目群に制限されずに自由に選択履修できるようにしています。

専門基礎科目群及び専門科目群のうち、本コースのコア領域科目及び関連領域科目に属さない授業科目も広領域科目として履修できます。

(3) -7 地域づくりコースのその他、履修上の注意事項

① 先修条件のある科目の履修について

授業科目によっては、当該科目を受講するまでに履修しておく必要がある（又は履修が推奨される）科目を設定しています。シラバスに記載していますので、履修を希望する場合は注意してください。

6 試 験

(1) 試験

授業科目を履修し、その試験に合格した学生には、所定の単位が与えられます。

- ア. 試験は、学期末に期間を定めて実施します。ただし、担当教員が必要と認めるときには、随時試験を行い、この結果をもって成績評価を行うことがあります。
- イ. 試験の時間割等は、学生情報システム (UNIPA) の「お知らせ」等により周知します。

(2) 受験資格

次に該当する場合は、試験を受けることができませんので、注意してください。

ア. 履修登録をしていない科目

イ. 履修登録した科目で出席時間数が全時間数の3分の2に満たない科目

(3) 受験にあたっての注意事項

- ア. 試験時間までには入室し、着席しておくこと。
 - イ. 学生証を必ず持参し、机の上に提示すること。忘れた場合は、事務局1階事務室（学務課教務係）で仮学生証の交付を受けること。
 - ウ. 筆記用具、学生証及び教員が認めたもの以外は机の上に置かないこと。
 - エ. 必要のないノートや書籍、筆箱などは鞆等の中に入れること。
 - オ. 携帯電話は退室まで電源を切って鞆にしまうこと。
 - カ. 時計（時計型端末含む）は退室まで鞆等の中にしまうこと。
 - キ. 遅刻は30分まで認めるが、遅刻しないよう注意すること。
 - ク. 試験開始後、30分を経過しないと退室できません。
 - ケ. 終了の合図があったら直ちに筆記用具を置いて答案を提出すること。
 - コ. 試験を受けた場合は、答案用紙を持ち帰らないこと。持ち帰った場合は不正行為とみなします。
- ※万が一、不正行為があった場合には、当該授業科目の履修が無効となるほか、学則第49条の規定及び「島根県立大学における学生の懲戒に関する規程」に基づき懲戒（退学・停学・）処分となります。試験中は、不正行為はもちろんのこと、紛らわしい行為もしないように注意してください。

(4) 追試験

次の理由により、試験を受けることができなかった場合には、当該科目の試験終了後7日以内に、欠席の理由を明らかにした証明書等を添付のうえ、追試験願を本部棟1階事務室（学務課教務係）に提出し、学長の許可を得て追試験を受けることができます。

- ア. 疾病（⇒医師の診断書が必要）
- イ. 忌引き（⇒会葬礼状等の写しが必要）
- ウ. 交通機関の突発事故（⇒事故証明書等が必要）
- エ. 突発的な災害等

オ. 裁判員制度に基づき、裁判員に選任され、これを受諾したことにより、裁判に参加することが必要となった場合

(5) 【4年生以上のみ対象】就職活動と学期末試験が重複した場合

就職活動のために学期末試験を受けることができなかった場合は、以下に該当する場合のみ追試験の対象となります。就職活動のために授業を欠席する場合と同様、**調整ができる場合には学期末試験を最優先**してください。

- ①企業等の指定する日時に選考試験（面接を含む）を受ける場合。
- ②企業等の指定する日時に当該企業等を訪問又は当該企業が開催する説明会に参加する場合。
- ③内定企業から呼び出しを受けた場合は、①②に準じて取り扱うものとする。

ただし、学期末試験と重複しない日時を選択できる余地がある場合は、選考試験や説明会等の日時調整をすること。調整可能であるにもかかわらず、選考や説明会等に参加して試験を欠席した場合は、追試験を認めない。

どうしても調整できず学期末試験を欠席する場合には、原則として、欠席後7日以内に科目ごとの「就職活動による欠席届」を授業担当教員に提出してください。なお、「就職活動による欠席届」を提出する際には就職活動の内容（日時、場所、活動内容）を明らかにして、本部棟1階事務室（学務課キャリア支援室）の確認を受けてください。

さらに、当該科目の試験終了後7日以内に、「就職活動による欠席届」（学務課キャリア支援室の確認を受けたもの）の写しを添付の上、「追試験願」を本部棟1階事務室（学務課教務係）まで提出してください。

(6) 再試験（卒業年次生のみ対象）

試験の結果が「不可」となった場合に、なお当該科目の単位を修得したいときは、次年度以降に再履修しなければなりません。ただし、卒業する学期においてやむを得ない事情があると認められる場合には、再試験を行うことがあります。

再試験は4単位を上限に受験が認められます。

なお、再試験を行って単位が修得できた場合の評価は「可」のみです。

「放棄」となった科目は再試験の対象にはなりません。

(7) 異常気象及び自然災害等発生時の試験の取扱い

取扱いについては、「3 授業 (5) 異常気象及び自然災害等発生時の授業の取扱い」と同じです。その他の取扱いについて指示する場合がありますので、学生情報システム (UNIPA) の「お知らせ」には常に注意をしてください。

7 成績評価

(1) 成績評価

ア. 成績の評価は、試験の結果ばかりでなく、論文・レポート・出席状況等により科目担当教員が総合的に判断します。

イ. 成績評価は、秀、優、良、可又は不可をもって表し、このうち、秀、優、良及び可を合格とします。

「秀」	…………	90 点以上
「優」	…………	80 点以上 90 点未満
「良」	…………	70 点以上 80 点未満
「可」	…………	60 点以上 70 点未満
「不可」	……	60 点未満

ウ. 履修登録をしながら、例えば「試験を受けない」、「出席日数が足りない」、「レポートを提出しない」などの履修状況により担当教員が成績評価の対象とならないと判断した場合は「放棄」とし、成績評価を行いません。

学生が履修登録した科目を放棄する意味ではありません。

エ. 「不可」「放棄」とされた科目の単位も、年間の履修登録制限単位数（40 単位）に含まれますので、注意してください。

オ. 担当教員が成績発表までに評価を一時的に保留する場合がありますが、この場合は、成績通知書等には「保留」と表示されます。なお、成績が確定次第、いずれかの評価に変更となります。

(2) GPA

GPA (Grade Point Average) とは、学期及び累積の成績を以下の計算式で数値化し、教育の質の向上を図る制度です。成績表に表示される GPA を意識して、修学に励むよう心がけてください。

$$\text{学期GPA} = \frac{\text{当該学期の「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1}{\text{当該学期の総履修登録単位数}}$$

$$\text{累積GPA} = \frac{\text{全期間の「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1}{\text{全期間の総履修登録単位数}}$$

※「総履修登録単位数」には、「不可」や「放棄」となった科目の単位数も含まれます。

(3) 不服申立

履修した科目の成績評価に関し、質問や疑問がある場合は、その科目を履修した学期の成績発表後1ヶ月以内に、担当教員に対して説明を求めることができます。さらに、担当教員の説明に不服がある場合は、成績評価に対する不服申立てを行うことができます。

8 学生による授業アンケートの実施について

本学では、授業をより充実したものとすることを目的に、学生による授業アンケートを実施しています。アンケートは学生情報システム (UNIPA) で実施します。学期末に学内メール等で案内されますので、履修した科目について回答してください。

9 オフィスアワー

オフィスアワーは、学生の皆さんが学業や学校生活全般に関する質問や相談、あるいは個人的な指導等を受けるための時間であり、全専任教員が設定しています。

オフィスアワーの時間帯は教員毎に設定されています。学期始めに学生情報システム (UNIPA) の「お知らせ」に掲載しますので、各自よく確認をして、指示に従ってください。この時間帯以外の教員研究室の訪問を制限するものではありませんが、講義・会議等で不在の場合もありますので、なるべくオフィスアワーを活用してください。なお、できるだけ事前に教員に予約を取り訪問していただくことをお勧めします。

Ⅲ 履修モデルについて

地域経済経営コース履修モデル I

＜想定する卒業後の進路＞地方銀行などの地域金融機関

※表中の数字は単位数

※未書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位					
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択 指定	選択			
基礎 教養 科目 目群	一般 教養 科目	社会科学	しまね地域共生学入門 2	現代企業論 2								22	28		
			グローバリゼーション論 2												
			経済学入門 2												
			社会学入門 2												
			法学入門 2												
	人文科学				人文地理学 2										
	自然科学	経済数学の基礎 2			島根県の水産業 2										
情報・統計		統計学Ⅰ 2	統計学Ⅱ 2												
連携															
語学・多文化理解科目	英語Ⅰ 2	英語Ⅱ 2								4					
キャリア科目						キャリアプランニング 2				2					
専門 基礎 科目 目群	学科コア科目	地域政策概論 2	地域社会論 2								4		32		
	リサーチ科目		社会調査法 2	質的調査法 2								6			
	国際理解科目														
	実習科目			フィールド基礎実習【集】 2											
	選択 科目 目	コースコア領域科目	経営学総論 2	マクロ経済学 2	中小企業論 2	経営組織論 2								6	10
			SDGs概論 2	ミクロ経済学 2											
	コース関連領域科目				民法Ⅰ(総則) 2							4			
	演習科目		地域経済経営基礎演習 2								2				
専門 科目 目群	選択 科目 目	コースコア領域科目			マーケティング論 2	地域経済論 2	財政学 2	交通・観光経済論 2					28		
					情報社会論 2	環境経済論 2	情報経済論 2	地域産業政策論 2							
					計量経済学 2	地域産業調査分析 2	地域金融論 2	ゲーム理論 2							
					企業会計【集】 2										
	コース関連領域科目				民法Ⅲ(債権) 2	起業実践法 2	関係人口論 2					10			
					商法【集】 2										
					社会保障論 2										
	演習科目			地域マネジメント演習Ⅰ 2	地域マネジメント演習Ⅱ 2	地域マネジメント演習Ⅲ 2	地域マネジメント演習Ⅳ 2	地域マネジメント演習Ⅴ 2	地域マネジメント演習Ⅵ 2	4	12				
								卒業研究 4							
広領域科目					ジェンダー論 2	西洋近代史 2		地域文化入門 2				10	10		
							環境科学 2								
							グローバル時代の平和と安全 2								
合計		20	20	20	20	20	16	2	6	14	20	90	124		
		40		40	- 44 -	36		8							

地域経済経営コース履修モデルⅡ

＜想定する卒業後の進路＞各種企業(企画、マーケティング、経理等)

※表中の数字は単位数

※未書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位											
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択 指定	選択									
基礎 教養 科目 群	一般 教養 科目	社会科学	しまね地域共生学入門	2	現代企業論	2	日本の政治	2					22	28							
			グローバル化論	2																	
			経済学入門	2																	
			社会学入門	2																	
			法学入門	2																	
	人文科学																				
自然科学	経済数学の基礎	2																			
情報・統計	コンピュータ・リテラシー	2	統計学Ⅰ	2	統計学Ⅱ	2															
連携																					
語学・多文化理解科目	英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2						4											
キャリア科目							キャリアプランニング	2		2											
専門 基礎 科目 群	選択 科目	学科コア科目	地域政策概論	2	地域社会論	2					4			4							
		リサーチ科目		社会調査法	2	質的調査法	2														
		国際理解科目																			
		実習科目																			
	コースコア領域科目	経営学総論	2	マクロ経済学	2	中小企業論	2	経営組織論	2				6	10	32						
	コース関連領域科目			ミクロ経済学	2	SDGs概論	2							6							
演習科目			地域資源論	2			民法Ⅰ(総則)	2													
			会計学【集】	2			社会学	2													
			地域経済経営基礎演習	2			地域資源活用法	2				2									
専門 科目 群	選択 科目	コースコア領域科目			マーケティング論	2	地域産業調査分析	2	情報経済論	2	ゲーム理論	2			28						
		コース関連領域科目			ベンチャービジネス論	2	経営管理論	2	意思決定論	2	環境経済論	2									
	演習科目			公共経済論	2	地域経済論	2	地域金融論	2	経営戦略論	2										
			企業会計【集】	2			計量経済学	2							10						
							民法Ⅲ(債権)	2	関係人口論	2											
							商法【集】	2	労働法	2											
							起業実践法	2													
							地域マネジメント演習Ⅰ	2	地域マネジメント演習Ⅱ	2	地域マネジメント演習Ⅲ	2	地域マネジメント演習Ⅳ	2	地域マネジメント演習Ⅴ	2	地域マネジメント演習Ⅵ	2	4	12	
																	卒業研究	4			
広領域科目					自然地理学	2			ジェンダー論	2									10	10	
					人文地理学	2			グローバル時代の平和と安全	2											
									島根県の水産業	2											
合計		20	20	20	20	20	20	16	2	6	14	20	90	124							
		40		40		36		8													

地域経済経営コース履修モデルⅢ

《想定する卒業後の進路》産業振興・起業支援に関わる公務員等

※表中の数字は単位数

※朱書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分			1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位数							
			春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択	指定	選択				
基礎教養科目群	一般教養科目	社会科学	しまね地域共生学入門	2	現代企業論	2	日本の政治	2							22	28		
			グローバル化論	2														
			経済学入門	2														
			社会学入門	2														
			法学入門	2														
	人文科学																	
	自然科学	経済数学の基礎	2						島根県の水産業	2								
情報・統計			統計学Ⅰ	2	統計学Ⅱ	2												
連携																		
語学・多文化理解科目		英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2							4						
キャリア科目								キャリアプランニング	2			2						
専門基礎科目群	選択科目	コースコア領域科目	地域政策概論	2	地域社会論	2							4		6	32		
			リサーチ科目		社会調査法	2	質的調査法	2										
			国際理解科目															
			実習科目	フィールド基礎実習【集】	2													
	コースコア領域科目	経営学総論	2	マクロ経済学	2	中小企業論	2	経営組織論	2					6	8			
	コース関連領域科目			ミクロ経済学	2			アジア経済論	2									
コース関連領域科目			地域資源論	2														
コース関連領域科目			社会学	2			民法Ⅰ(総則)	2						6				
演習科目			地域経済経営基礎演習	2			行政学	2					2					
専門科目群	選択科目	コースコア領域科目			意思決定論	2	交通・観光経済論	2	水産経済政策論【集】	2	地域産業政策論	2			26	54		
			情報社会論	2	地域経済論	2	公共政策論	2										
	マーケティング論	2	経営管理論	2	情報経済論	2												
	公共経済論	2			農業経済政策論	2												
コース関連領域科目							民法Ⅲ(債権)	2	関係人口論	2				12				
コース関連領域科目							地方自治論	2	地域交通政策論	2								
コース関連領域科目							地域経営論	2										
コース関連領域科目							社会保障論	2										
演習科目					地域マネジメント演習Ⅰ	2	地域マネジメント演習Ⅱ	2	地域マネジメント演習Ⅲ	2	地域マネジメント演習Ⅳ	2	地域マネジメント演習Ⅴ	2	地域マネジメント演習Ⅵ	2	4	12
演習科目													卒業研究	4				
広領域科目							人文地理学	2			環境科学	2			10	10		
											グローバル時代の平和と安全	2						
											ジェンダー論	2						
											自然地理学	2						
合計			20	20	20	18	20	18	2	6			14	20	90	124		
			40		38		38		8									

地域公共コース履修モデルⅠ

《規定する卒業後の進路》国家公務員・地方公務員等

※表中の数字は単位数
※朱書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位							
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択 指定	選択					
基礎 教養 科目 群	一般 教養 科目	社会科学	しまね地域共生学入門	2	国際社会と政治	2							22	28			
			日本の政治	2													
			法学入門	2													
			社会学入門	2													
			経済学入門	2													
	人文科学				地域文化入門	2											
	自然科学	経済数学の基礎	2														
情報・統計	コンピュータ・リテラシー	2	統計学Ⅰ	2	統計学Ⅱ	2											
	連携																
	語学・多文化理解科目	英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2					4							
	キャリア科目					キャリアプランニング	2			2							
専門 基礎 科目 群	学科コア科目	地域政策概論	2	地域社会論	2							4					
	リサーチ科目			社会調査法	2								4				
	国際理解科目	多文化共生論入門	2														
	実習科目																
	選択 科目	コースコア領域科目	政治学概論	2	民法Ⅰ(総則)	2	行政法Ⅰ	2	民法と家族	2	ミクロ経済学	2			6	10	32
					行政学	2											
		コース関連領域科目			社会学	2											
				憲法Ⅰ	2												
	演習科目			地域公共基礎演習	2								2				
専門 科目 群	選択 科目	コースコア領域科目			民法Ⅱ(物権)	2	行政法Ⅱ	2	政策過程論	2	政治哲学	2			28	54	
					民法Ⅲ(債権)	2	地域交通政策論	2	社会保障論	2	福祉社会学	2					
					地方自治論	2	文化政策論	2	公共政策論	2							
					憲法Ⅱ	2			財政学	2							
		コース関連領域科目			地域経営論	2			公共経済論	2					10		
	演習科目					地域経営論	2	意思決定論	2	ボランティア論	2						
						農業経済政策論	2	地域産業政策論	2								
	演習科目			専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	専門演習Ⅴ	2	専門演習Ⅵ	2	4	12
												卒業研究	4				
	広領域科目			環境政策論	2	数的処理の基礎	2	地域総合計画論【集】	2	労働法	2				10	10	
										関係人口論	2						
合計		22	18	20	20	22	14	2	6			14	20	90	124		
		40		40		36		8						- 47 -			

地域公共コース履修モデルⅡ

＜想定する卒業後の進路＞ 国家公務員・地方公務員、NPO等の非営利団体の職員、シンクタンクの職員等

※表中の数字は単位数

※朱書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位									
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択 指定	選択							
基礎 教養 科目 目群	一般 教養 科目	社会科学	法学入門	2		現代企業論	2					22	28						
			社会学入門	2															
			経済学入門	2															
		自然科学	経済数学の基礎	2		環境科学	2												
		情報・統計	コンピュータ・リテラシー	2	統計学Ⅰ	2	統計学Ⅱ	2											
	連携																		
	語学・多文化理解科目	英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2						4								
キャリア科目				キャリアデザイン【集】	2	キャリアプランニング	2			2									
専門 基礎 科目 目群	学科コア科目	地域政策概論	2	地域社会論	2						4	4	32						
	リサーチ科目			社会調査法	2	質的調査法	2												
	国際理解科目																		
	実習科目																		
	選択 科目	コースコア領域科目	政治学概論	2	民法Ⅰ(総則)	2	憲法Ⅰ	2						6	8				
			コミュニケーション学概論	2	行政学	2													
		コース関連領域科目	経営学総論	2			SDGs概論	2	コミュニティ政策論【集】	2					8				
						マクロ経済学	2												
	演習科目			地域公共基礎演習	2							2							
専門 科目 目群	選択 科目	コースコア領域科目			民法Ⅱ(物権)	2	地域交通政策論	2	情報社会論	2	環境法	2	28	54					
					民法Ⅲ(債権)	2			財政学	2	労働法	2							
			家族社会学	2			社会保障論	2	福祉社会学	2	NPO論	2							
			公共経済論	2			政策過程論	2	交通・観光経済論	2									
	コース関連領域科目							社会思想論	2	環境システム論	2		10						
								農業経済政策論	2	地域産業政策論	2								
								計量経済学	2										
	演習科目					専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	専門演習Ⅴ	2	専門演習Ⅵ	2	4	12
															卒業研究	4			
広領域科目				公共政策論	2	数的処理の基礎	2	グローバリゼーション論	2	関係人口論	2			10	10				
				キャリアプラクティス【集】	1			自治体・NPO等キャリアプラクティス【集】	1										
合計		20	18	21	18	21	18	21	18	2	6	14	20	90	124				
		38		39		- 48 -		39		8									

地域公共コース履修モデルⅢ

《規定する卒業後の進路》主に民間企業(マスコミ、コンサルティング、運輸、電気・ガス、建設、教育、広告等)の職員

※表中の数字は単位数

※未書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分			1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位数						
			春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択 指定	選択				
基礎 教養 科目 目群	一般 教養 科目	社会科学	法学入門	2			現代企業論	2						22	28		
			社会学入門	2													
			経済学入門	2													
		人文科学															
		自然科学	経済数学の基礎	2													
	情報・統計	コンピュータ・リテラシー	2	統計学Ⅰ	2	統計学Ⅱ	2										
	連携																
語学・多文化理解科目	英語Ⅰ	2	英語Ⅱ	2		ビジネス英語入門Ⅱ	2					4					
	ビジネス英語入門Ⅰ	2															
キャリア科目				キャリアデザイン【集】	2		キャリアプランニング	2				2					
専門 基礎 科目 目群	学科 コア 科目	地域政策概論	2	地域社会論	2								4	4			
		リサーチ科目		社会調査法	2	質的調査法	2										
		国際理解科目															
	実習科目																
	選択 科目	コース コア 領域 科目	政治学概論	2	民法Ⅰ(総則)	2		民法と家族	2						6	8	
			コミュニケーション学概論	2	行政学	2											
		社会学	2														
	社会学	2															
	社会学	2															
	社会学	2															
	社会学	2															
	コース 関連 領域 科目	経営学総論	2			マクロ経済学	2	中小企業論	2					8			
	演習科目			地域公共基礎演習	2								2				
専門 科目 目群	選択 科目	コース コア 領域 科目	財政学	2			情報社会論	2	環境法	2				22			
			民法Ⅱ(物権)	2			商法【集】	2	労働法	2							
	民法Ⅲ(債権)	2			社会保障論	2	交通・観光経済論	2									
	家族社会学	2															
	公共経済論	2															
	コース 関連 領域 科目			マーケティング論	2	経営管理論	2	意思決定論	2	地域産業政策論	2			16			
								社会思想論	2	環境システム論	2						
								計量経済学	2								
								農業経済政策論	2								
	演習科目			専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	専門演習Ⅴ	2	専門演習Ⅵ	2	4	12
												卒業研究	4				
広領域科目					公共政策論	2	数的処理の基礎	2	グローバルイノベーション論	2	関係人口論	2		10	10		
					キャリアプラクティス【集】	1		自治体・NPO等キャリアプラクティス【集】	1								
合計			22	18	23	16	23	14	2	6			14	20	90	124	
			40		39		- 49 -		37		8						

地域づくりコース履修モデルⅠ

＜想定する卒業後の進路＞社会起業家、各種企業

※表中の数字は単位数
※朱書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位				
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択 指定	選択		
基礎 教養 科目 群	一般 教養 科目	社会科学	しまね地域共生学入門 2	現代企業論 2	グローバルイノベーション論 2							22	28	
			経済学入門 2											
			社会学入門 2											
		人文科学		芸術学 2		日本文化論【集】 2								
		自然科学												
	情報・統計	情報リテラシー 2	統計学Ⅰ 2	統計学Ⅱ 2										
	連携	コンピュータ・リテラシー 2												
	語学・多文化理解科目	英語Ⅰ 2	英語Ⅱ 2							4				
	キャリア科目					キャリアプランニング 2				2				
専門 基礎 科目 群	学科コア科目	地域政策概論 2	地域社会学 2								4		34	
	リサーチ科目	アカデミックライティング 2	社会調査法 2	質的調査法 2							2			
	国際理解科目													
	実習科目			フィールド基礎実習【集】 2		地域理解(国内研修)【集】 2								
	選択 科目	コースコア領域科目	SDGs概論 2	社会学 2	コミュニティ政策論【集】 2	地域資源活用法 2						6		8
		コース関連領域科目	経営学総論 2	地域資源論 2	中小企業論 2	経営組織論 2								4
	演習科目		地域づくり基礎演習 2								2			
専門 科目 群	選択 科目	コースコア領域科目		ローカル・ジャーナリズム論 2	映像表現論 2	地域ネットワーク活用法 2	環境システム論 2					26	52	
				マーケティング論 2	ブランディング論 2	起業実践法 2	環境経済論 2							
			NPO論 2			文化遺産活用法 2								
	コース関連領域科目			ベンチャービジネス論 2	文化社会学 2									
					関係人口論 2									
					ボランティア論 2									
	演習科目			地域プロジェクト研究ⅠA 2	地域プロジェクト研究ⅠB 2	地域プロジェクト研究Ⅱ 2	地域プロジェクト研究Ⅱ 2	卒論演習Ⅰ 2	卒論演習Ⅱ 2	4	12			
								卒業研究 4						
広領域科目						文学 2	環境科学 2					10	10	
						西洋近代史 2	自然地理学 2							
						心理学概論 2								
合計		20	20	20	20	20	16	2	6	14	22	88	124	
		40		40		36		8						

地域づくりコース履修モデルⅡ

◀想定する卒業後の進路▶コーディネーター、公務員、NPO/NGO

※表中の数字は単位数

※朱書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位						
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択	指定				
基礎教養科目群	社会科学	しまね地域共生学入門 2	地域文化入門 2									22	28		
		法学入門 2													
		社会学入門 2													
		日本の政治 2													
	人文科学		日本文化論【集】 2												
	自然科学														
情報・統計	コンピュータ・リテラシー 2														
連携			教養ラボ I 2	教養ラボ I 2	教養ラボ II 2	教養ラボ II 2									
語学・多文化理解科目	英語 I 2	英語 II 2							4						
キャリア科目					キャリアプランニング 2				2						
専門基礎科目群	学科コア科目	地域政策概論 2	地域社会論 2							4		6	34		
	リサーチ科目	アカデミックライティング 2	社会調査法 2	質的調査法 2							2				
	国際理解科目														
	実習科目					地域理解(国内研修)【集】 2									
	選択科目	コースコア領域科目	SDGs概論 2	社会学 2	コミュニティ政策論【集】 2	地域資源活用法 2								6	8
				地域資源論 2	歴史資料解読法 2										
コース関連領域科目	コミュニケーション学概論 2	憲法 I 2		民法 I (総則) 2								6			
演習科目		地域づくり基礎演習 2									2				
専門科目群	選択科目	コースコア領域科目		社会思想論 2	ボランティア論 2		文化政策論 2					26	52		
				社会保障論 2	関係人口論 2		文化遺産活用法 2								
				家族社会学 2	福祉社会学 2		社会宗教論 2								
			環境文化論 2	文化社会学 2											
			映像表現論 2												
			NPO論 2												
コース関連領域科目			地方自治論 2		憲法 II 2	地域産業調査分析 2						10			
					財政学 2	地域経済論 2									
演習科目			地域プロジェクト研究 I A 2	地域プロジェクト研究 I B 2	地域プロジェクト研究 II 2	地域プロジェクト研究 II 2	卒論演習 I 2	卒論演習 II 2	卒論演習 I 2	卒論演習 II 2	卒業研究 4	4	12		
広領域科目					地域ネットワーク活用法 2	ジェンダー論 2						10	10		
					地域経営論 2	人文地理学 2									
						自然地理学 2									
合計	20	20	20	20	16	20	2	6	14	22	88	124			
	40		40		36		8								

地域づくりコース履修モデルⅢ

〈想定する卒業後の進路〉NPO/NGO、各種企業

※表中の数字は単位数
※朱書きは当該コースにおいて必ず修める科目

科目区分		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位							
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	必修	選択 指定	選択					
基礎 教養 科目 群	一般 教養 科目	社会科学	しまね地域共生学入門	2	グローバル化論	グローバル化時代の平和と安全	2						22	28			
			経済学入門	2		国際社会と政治	2										
			社会学入門	2													
		人文科学			心理学概論	2											
		自然科学		自然地理学	2												
	情報・統計	コンピュータリテラシー	2														
		情報リテラシー	2														
連携																	
語学・多文化理解科目	英語 I	2	英語 II	2						4							
キャリア科目				キャリアデザイン【集】	2	キャリアプランニング	2			2							
専門 基礎 科目 群	学科コア科目	地域政策概論	2	地域社会論	2						4		34				
		リサーチ科目	アカデミックライティング	2	社会調査法	2	質的調査法	2				2		6			
		国際理解科目															
	選択科目	コースコア領域科目	SDGs概論	2	社会学	2	コミュニティ政策論【集】	2	地域資源活用法	2							
			自然保護思想【集】	2	地域資源論	2	中小企業論	2						6	10		
		コース関連領域科目		ミクロ経済学	2		憲法 I	2							4		
	演習科目		地域づくり基礎演習	2								2					
専門 科目 群	選択科目	コースコア領域科目	環境政策論	2	NPO論	2	ローカル・ジャーナリズム論	2	ボランティア論	2			26				
			マーケティング論	2	映像表現論	2	環境文化論	2	ブランディング論	2							
	コース関連領域科目	環境保全論【集】	2	環境経済論	2	環境システム論	2			文化政策論	2						
		地域経済論	2	アジア環境論	2	公共経済論	2	地域金融論	2	文化社会学	2						
演習科目		地域プロジェクト研究 I A	2	地域プロジェクト研究 I B	2	地域プロジェクト研究 II	2	地域プロジェクト研究 II	2	卒論演習 I	2	卒論演習 II	2	卒論演習 II 卒業研究	4	4	12
広領域科目		日本文化論【集】	2			日本思想史入門	2	ジェンダー論	2					10	10		
								現代企業論	2								
								環境科学	2								
合計		20	20	20	20	20	16	2	6				14	22	88	124	
		40		40		- 52 -		36		8							

IV 授業科目表

■2024年度地域政策学部 授業科目表

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択)
 関:コース関連領域科目(選択) △:広領域科目として履修可能

科目分類	科目名	配当年次	単位数	卒業要件		
				地域経済経営	地域公共	地域づくり
基礎教養科目群／一般教養科目	しまね地域共生学入門	1 春	2	○	○	○
	日本の政治	1 春	2	○	○	○
	国際社会と政治	1 春	2	○	○	○
	グローバル時代の平和と安全	1 秋	2	○	○	○
	グローバリゼーション論	1 春	2	○	○	○
	経済学入門	1 春	2	○	○	○
	現代企業論	1 秋	2	○	○	○
	法学入門	1 春	2	○	○	○
	社会学入門	1 春	2	○	○	○
	ジェンダー論	1・2 秋	2	○	○	○
	哲学	1・2 春	2	○	○	○
	日本思想史入門	1・2 春	2	○	○	○
	日本文化論	1・2 秋	2	○	○	○
	人文地理学	1・2 秋	2	○	○	○
	歴史学概論	1 春	2	○	○	○
	西洋近代史	2 春	2	○	○	○
	文学	1・2 春	2	○	○	○
	芸術学	1・2 秋	2	○	○	○
	心理学概論	1・2 春	2	○	○	○
	地域文化入門	1 秋	2	○	○	○
	経済数学の基礎	1 春	2	○	○	○
	自然地理学	1・2 秋	2	○	○	○
	環境科学	1・2 秋	2	○	○	○
	島根県の水産業	1・2 秋	2	○	○	○
	コンピュータ・リテラシー	1 春	2	○	○	○
	情報リテラシー	1 春	2	○	○	○
	統計学Ⅰ	1 秋	2	○	○	○
	統計学Ⅱ	2 春	2	○	○	○
	教養ラボⅠ	2 通年	4	○	○	○
	教養ラボⅡ	3 通年	4	○	○	○
基礎教養科目群／語学多文化理解科目	英語Ⅰ	1 春	2	●	●	●
	英語Ⅱ	1 秋	2	●	●	●
	ビジネス英語入門Ⅰ	1 春	2	○	○	○
	ビジネス英語入門Ⅱ	1 秋	2	○	○	○
	海外英語研修	1 秋	2	○	○	○
	中国語Ⅰ	1 春	2	○	○	○
	中国語Ⅱ	1 秋	2	○	○	○
	海外中国語研修	2 春	2	○	○	○
	韓国語Ⅰ	1 春	2	○	○	○
	韓国語Ⅱ	1 秋	2	○	○	○
	海外韓国語研修	2 春	2	○	○	○
	ロシア語Ⅰ	1 春	2	○	○	○
	ロシア語Ⅱ	1 秋	2	○	○	○
	海外ロシア語研修	2 春	2	○	○	○
	日本語Ⅰ(留学生のみ履修)	1 春	2	○	○	○
	日本語Ⅱ(留学生のみ履修)	1 春	2	○	○	○
	日本語Ⅲ(留学生のみ履修)	1 秋	2	○	○	○
日本語Ⅳ(留学生のみ履修)	1 秋	2	○	○	○	

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択)
 関:コース関連領域科目(選択) △:広領域科目として履修可能

科目分類	科目名	配当年次	単位数	卒業要件		
				地域経済経営	地域公共	地域づくり
基礎教養科目群 /語学多文化 理解科目	異文化理解(アメリカ)	1 秋	2	○	○	○
	異文化理解(カナダ)	1 春	2	○	○	○
	異文化理解(中国)	1 春	2	○	○	○
	異文化理解(韓国)	1 春	2	○	○	○
	異文化理解(ロシア)	1 春	2	○	○	○
	多文化交流	1 秋	2	○	○	○
基礎教養科目群 /キャリア科目	キャリアデザイン	1・2・3 春	2	○	○	○
	キャリアプランニング	3 春	2	●	●	●
	キャリアプラクティス	1・2・3 春・秋	1	○	○	○
専門基礎科目群 /国際理解科目	多文化共生論入門	1 春	2	○	○	○
	平和学	2 秋	2	○	○	○
	文化人類学	1・2 春	2	○	○	○
	国際関係概論	1 秋	2	○	○	○
	国際政治学	2 秋	2	○	○	○
	北東アジア国際関係史	2 春	2	○	○	○
専門基礎科目群 /選択科目	政治学概論	1 春	2	△	⊖	△
	政治学	1 秋	2	△	⊖	△
	アジア経済論	2 秋	2	⊖	関	△
	政治思想史	2・3 春	2	△	⊖	△
	コミュニケーション学概論	1 春	2	△	⊖	関
	グローバル市民社会論	2 春	2	△	関	⊖
	中小企業論	2 春	2	⊖	関	⊖
	経営組織論	2 秋	2	⊖	関	⊖
	地域資源論	1 秋	2	⊖	関	●
	マクロ経済学	1 秋	2	●	関	△
	ミクロ経済学	1 秋	2	●	⊖	関
	経営学総論	1 春	2	●	関	関
	会計学	1 秋	2	⊖	△	関
	社会学	1 秋	2	関	●	●
	憲法 I	1 秋	2	関	⊖	関
	民法 I (総則)	1 秋	2	関	●	関
	行政学	1 秋	2	関	●	△
	民法と家族	1 秋	2	△	⊖	関
	行政法 I	2 春	2	△	⊖	△
	地域資源活用法	2 秋	2	関	△	⊖
	SDGs概論	1 春	2	⊖	関	●
	コミュニティ政策論	2 春	2	関	関	⊖
	自然保護思想	1 春	2	△	関	⊖
	歴史資料解読法	2 春	2	△	△	⊖
	地域文化論	1 秋	2	△	△	⊖
	専門基礎科目群 /学科コア科目	地域政策概論	1 春	2	●	●
地域社会論		1 秋	2	●	●	●
専門基礎科目群 /リサーチ科目	社会調査法	1 秋	2	○	○	○
	質的調査法	2 春	2	○	○	○
	アカデミックライティング	1 春	2	○	○	●
	数的処理の基礎	1・2 秋	2	○	○	○

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択)
 関:コース関連領域科目(選択) △:広領域科目として履修可能

科目分類	科目名	配当年次	単位数	卒業要件		
				地域経済経営	地域公共	地域づくり
専門基礎科目群 /実習科目	自治体・NPO等キャリアプラクティス	1・2・3 春・秋	1	○	○	○
	フィールド基礎実習A ※1	1・2 春	2	○	○	○
	フィールド基礎実習B	1・2 春	2	○	○	○
	地域理解(国内研修)	2・3 春	2	○	○	○
専門基礎科目群 /演習科目	地域経済経営基礎演習	1 秋	2	●		
	地域公共基礎演習	1 秋	2		●	
	地域づくり基礎演習	1 秋	2			●
専門科目群 /選択科目	アジア環境論	2・3 春	2	△	関	関
	政策過程論	2・3 春	2	関	⊖	△
	福祉社会学	2・3 秋	2	△	⊖	⊖
	国際法	2・3 春	2	△	⊖	△
	国際開発論	2・3 春	2	△	関	関
	公共経済論	2・3 春	2	⊖	⊖	関
	財政学	2・3 春	2	⊖	⊖	関
	公共政策論	2・3 春	2	⊖	⊖	関
	情報社会論	2・3 春	2	⊖	⊖	△
	交通・観光経済論	2・3 秋	2	⊖	⊖	関
	地域経済論	2・3 秋	2	⊖	△	関
	情報経済論	3・4 春	2	⊖	△	△
	ゲーム理論	3・4 秋	2	⊖	△	△
	農業経済政策論	3・4 春	2	⊖	関	関
	水産経済政策論	3・4 春	2	⊖	関	関
	計量経済学	2・3 春	2	⊖	関	関
	地域産業調査分析	2・3 秋	2	⊖	△	関
	経営管理論	2 秋	2	⊖	関	△
	マーケティング論	2 秋	2	⊖	関	⊖
	ベンチャービジネス論	2・3 春	2	⊖	△	関
	企業会計	2 春	2	⊖	△	△
	地域金融論	2・3 春	2	⊖	△	関
	経営戦略論	3・4 春	2	⊖	△	△
	意思決定論	2・3・4 春	2	⊖	関	△
	地域産業政策論	3・4 秋	2	⊖	関	△
	社会保障論	2・3 春	2	関	⊖	⊖
	家族社会学	2・3 春	2	△	⊖	⊖
	文化社会学	2・3 秋	2	△	⊖	⊖
	文化政策論	2・3 秋	2	△	⊖	⊖
	関係人口論	2・3・4 秋	2	関	⊖	⊖
	NPO論	2・3 秋	2	△	⊖	⊖
	刑法	1・2 秋	2	△	⊖	△
	憲法Ⅱ	2・3 春	2	関	⊖	関
	民法Ⅱ(物権)	2・3 春	2	関	⊖	△
	民法Ⅲ(債権)	2・3 春	2	関	⊖	△
	労働法	2・3 春	2	関	⊖	△
商法	2・3 春	2	関	⊖	△	
地方自治論	2・3 春	2	関	⊖	関	
地域交通政策論	2・3 秋	2	関	⊖	△	
行政法Ⅱ	2・3 秋	2	△	⊖	△	
比較憲法	2・3 秋	2	△	⊖	△	

※1 2024年度非開講

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択)
 関:コース関連領域科目(選択) △:広領域科目として履修可能

科目分類	科目名	配当年次	単位数	卒業要件		
				地域経済経営	地域公共	地域づくり
専門科目群／ 選択科目	環境法	2・3 秋	2	△	⊖	△
	地方政治	2・3 秋	2	△	⊖	△
	政治哲学	2・3 秋	2	△	⊖	△
	起業実践法	3・4 春	2	関	△	⊖
	地域経営論	2・3 春	2	関	関	⊖
	地域総合計画論	2・3 春	2	△	関	⊖
	環境政策論	2・3・4 春	2	△	関	⊖
	環境システム論	2・3・4 秋	2	△	関	⊖
	ボランティア論	2・3 春	2	△	関	⊖
	ローカル・ジャーナリズム論	2・3・4 春	2	△	△	⊖
	地域ネットワーク活用法	3・4 春	2	△	△	⊖
	ブランディング論	2・3 春	2	△	△	⊖
	文化遺産活用法	2・3・4 秋	2	△	△	⊖
	社会宗教論	2・3 秋	2	△	△	⊖
	社会思想論	2・3 秋	2	△	関	⊖
	映像表現論	2・3 秋	2	△	△	⊖
	環境保全論	2・3 秋	2	△	△	⊖
	環境文化論	2・3 春	2	△	△	⊖
	環境経済論	2・3・4 秋	2	⊖	△	⊖
	専門科目群／ 演習科目	地域マネジメント演習Ⅰ	2 春	2	●	
地域マネジメント演習Ⅱ		2 秋	2	●		
地域マネジメント演習Ⅲ		3 春	2	●		
地域マネジメント演習Ⅳ		3 秋	2	●		
地域マネジメント演習Ⅴ		4 春	2	●		
地域マネジメント演習Ⅵ		4 秋	2	●		
専門演習Ⅰ(地域政策学部)		2 春	2		●	
専門演習Ⅱ(地域政策学部)		2 秋	2		●	
専門演習Ⅲ(地域政策学部)		3 春	2		●	
専門演習Ⅳ(地域政策学部)		3 秋	2		●	
専門演習Ⅴ(地域政策学部)		4 春	2		●	
専門演習Ⅵ(地域政策学部)		4 秋	2		●	
地域プロジェクト研究ⅠA		2 春	2			●
地域プロジェクト研究ⅠB		2 秋	2			●
地域プロジェクト研究Ⅱ		3 通年	4			●
卒論演習Ⅰ		4 春	2			●
卒論演習Ⅱ		4 秋	2			●
卒業研究(地域政策学部)		4 秋	4	●	●	●

V 単位互換・単位認定について

1 単位互換

(1) 他学部の授業科目の履修について

本学の他学部（国際関係学部、看護栄養学部、人間文化学部）が開講する授業科目の履修を希望する場合は、事務局学務課教務係にご相談ください。授業科目の担当教員の許可を得て、履修を認めることがあります。

(2) 他の大学等における授業科目の履修について

所定の手続きをすることで、本学以外の大学等の授業科目を履修することができます。また、本学部では下記の大学等と単位互換協定を締結しており、次のとおり制度を運用しています。

<島根大学>

派遣できる学部	医学部を除く全学部
履修科目	島根大学が指定する授業科目のうち、本学が有益と認める科目
履修期間	1年以内
履修申込申請締切	春学期・・・前年度の1月末 秋学期・・・当該年度の6月末
その他	①島根大学での授業料の負担はありません。 ②島根大学への通学に要する経費は自己負担となります。

<放送大学>

派遣できる学部	教養学部
履修科目	放送大学が指定する授業科目のうち、本学が有益と認める科目
履修期間	1学期ごと
履修申込申請締切	前期（4月～7月）・・・前年度の1月末 後期（10月～1月）・・・当該年度の6月末
その他	①授業料の負担あり。 ②通学に要する経費は自己負担となります。

<教育ネットワーク中国>

履修科目	教育ネットワーク中国と協定を締結している大学が提供している科目
履修期間	1年以内
履修申込申請締切	各大学が定めている申込申請期限
その他	①授業料の負担はありません。 ②通学に要する経費等は自己負担となります。 ※詳細は、教育ネットワーク中国のホームページ（「単位互換事業」のページ）を参考にしてください。 URL http://www.enica.jp/

(3) 注意事項

- ①上記の単位互換協定を締結している大学等の他にも、「科目等履修生」を募集している大学等であれば、履修して単位を認定することができます。ただし、この場合は、各大学が定める入学検定料、入学料、授業料などの納付が必要なる場合があります。
- ②他の大学等での履修を希望する場合、各大学等で定められた期日までに申請を行う必要がありますが、それまでに本学で所定の手続きを経る必要があります。本学以外の大学等の授業科目の履修を希望する場合は、申込期日の2か月前までに、事務局学務課教務係まで申し出てください。
- ③他の大学等で履修する場合、その単位は、年間履修上限単位数の枠の中に含まれます。
- ④単他学部または他の大学等で履修した科目は、「島根県立大学国際関係学部・地域政策学部他の大学等における履修等に関する規程」に基づき単位認定を行います。詳細は、同規程を確認してください。
- ⑤他の大学等で履修した科目の単位認定の上限は、30単位です。
- ⑥上記の他詳細については、事務局学務課教務係にお問い合わせください。

2 海外留学による単位認定

協定留学及び認定留学で修得した単位は、「島根県立大学国際関係学部・地域政策学部他の大学等における履修等に関する規程」に基づき単位認定を行います。

ただし、海外留学による単位認定については下記の点に注意してください。

- ①一部の科目を除き、留学中は本学の科目を履修することはできません。
- ②これまでの単位修得状況などにより、単位認定の手続きを行っても卒業要件単位として認定することができない場合があります（その場合、要件外（自由科目）として認定されません）。
- ③海外の大学で履修する場合も、その単位は、年間履修上限単位数の枠の中に含まれます。
- ④単位認定は帰国後に手続きを行いますので、事前に認定内容を確認することはできません。
- ⑤学則第25条に規定する留学の単位認定の上限は、40単位です。1年を超える留学の場合は、60単位を上限に認定することができます。

この他、海外留学における単位認定についての詳細は、学務課教務係にご相談ください。

3 資格試験による単位認定

TOEICなどの外国語能力試験の成績等により、以下4つの場合に、本学で開設している科目としての単位認定を受けることができます。詳細は学務課教務係までお問い合わせください。なお、資格試験による単位認定を受ける場合、その単位は履修上限単位数には含みません。

(1) 留学をした学生

本学在学又は休学中に英語圏、中国語圏、韓国語圏、又はロシア語圏の国における教育施設等において本学の1セメスターに相当する期間以上学修した場合

1-1 英語

試験種別	成績等	認定授業科目	認定単位数		評価
			海外における学修期間		
①TOEIC ②TOEFL-ITP ③TOEFL-iBT	①430～515点 ②400～449点 ③32～44点	英語Ⅰ 英語Ⅱ	1セメスター以上	2単位まで	可
			2セメスター以上	4単位まで	
	①520～645点 ②450～475点 ③45～52点	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	1セメスター以上	2単位まで	良
		英字新聞リーディング 英語アカデミックリーディング	2セメスター以上	4単位まで	
	①650～695点 ②476～485点 ③53～55点	海外英語研修	1セメスター以上	2単位まで	優
			2セメスター以上	4単位まで	
	①700点以上 ②486点以上 ③56点以上		1セメスター以上	2単位まで	秀
			2セメスター以上	4単位まで	

注1 TOEICとは、Test of English for International Communicationの略で、アメリカ合衆国の法人であるETS (Educational Testing Service)が英語の能力を判定するために実施する以下の試験とする。(別表2、一 英語において同じ)

- (1) TOEIC 公開試験
- (2) TOEIC IP試験 (本学を試験会場として実施するもの)

注2 TOEFLとは、Test of English as a Foreign Languageの略で、アメリカ合衆国の法人であるETS (Educational Testing Service)が英語の能力を判定するために実施する以下の試験とする。

- (1) TOEFL-ITP (本学を試験会場として実施するもの)
- (2) TOEFL-iBT (インターネット版TOEFL)

注3 海外における学修期間に記すセメスターとは、本学におけるセメスターに相当すると認められるものとする。

注4 成績評価は、上表のTOEICまたはTOEFLの成績に申請者の海外の教育施設等における学修の成果を勘案して行う。

注5 単位認定を申請する予定が有る者は、留学前に「海外英語研修」の担当教員と面談して指導を受け、留学後に学習成果を発表する必要がある。

注6 編入学生については、令和5年度(2023年度)入学生より本表を適用する。

1-2 中国語 孔子学院総部／国家漢弁が実施している漢語水平考試

試験種別	成績等	認定授業科目	認定単位数		評価
			海外における学修期間		
漢語水平考試 (筆記試験) 4級	180点-194点	中国語Ⅰ	1セメスター以上	6単位まで	可
		中国語Ⅱ	2セメスター以上	12単位まで	
	195点-209点	中国語コミュニケーションⅠ	1セメスター以上	6単位まで	良
		中国語コミュニケーションⅡ	2セメスター以上	12単位まで	
	210点以上	中国語読解Ⅰ	1セメスター以上	6単位まで	優
		中国語読解Ⅱ 海外中国語研修 実践中国語Ⅰ 実践中国語Ⅱ	2セメスター以上	12単位まで	
漢語水平考試 (筆記試験) 5級、6級	180点以上	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	1セメスター以上	6単位まで	秀
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語読解Ⅰ 中国語読解Ⅱ 海外中国語研修 実践中国語Ⅰ 実践中国語Ⅱ	2セメスター以上	12単位まで	

注1 「漢語水平考試(筆記試験)」とは、中国の孔子学院総部／国家漢弁が主催し、実施する中国語を母国語としない中国語学習者のための公認の中国語能力認定標準化国家試験のことである。日本において、社団法人日本青少年育成協会の後援のもとで、HSK日本実施委員会(HSK日本事務局)が実施する漢語水平考試(筆記試験)を含むものとする。

注2 海外における学修期間に記されるセメスターとは、本学におけるセメスターに相当すると認められるものとする。

注3 成績評価は、上表の漢語水平考試の成績に申請者の海外の教育施設等における学修の成果を勘案して行う。

(2) 英語科目のうち必修であるものの再履修者（※）

試験種別	成績等	認定授業科目(全て2単位科目)	認定単位数	評価
TOEIC	350～395点	英語Ⅰ	2単位まで	可
	400～445点	英語Ⅱ	4単位まで	
	450～495点	英語Ⅰ 英語Ⅱ	6単位まで	
	500点以上	英語アカデミックリーディング(国際関係コースのみ) 英語コミュニケーションⅠ(国際コミュニケーションコースのみ) 英語コミュニケーションⅡ(国際コミュニケーションコースのみ)	8単位まで	

注1 再履修者※については、再履修した科目について成績評価を受けた場合のみ認定の対象とする。再々履修者及び編入学生の再履修者についてはこの限りではない。

(※) 再履修者とは

「再履修をした結果、成績評価が「不可」となった者」をいいます。再履修の登録をおこなっても、成績が「放棄」となった者は対象となりません。

(3) 英語科目のうち TOEIC の点数を到達目標として掲げている科目について「不可」の評価を受けた者

試験種別	成績等	ビジネス英語入門Ⅰ	ビジネス英語入門Ⅱ	ビジネス英語Ⅰ	ビジネス英語Ⅱ	
TOEIC	400～450点	可	—	—	—	
	451～500点	良	可			
	501～550点	優	良	可	可	
	551～600点	秀	優	良		
	601～650点		秀	優		良
	651～700点			秀		秀
	701点以上		秀		秀	

(4) 蔚山大学校へのダブルディグリー候補学生向けの正規外授業科目「韓国語特別演習」を受講した学生

受講科目	認定授業科目	認定単位数	評価
韓国語特別演習Ⅰ、Ⅱ (正規外科目)	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語読解Ⅰ 韓国語読解Ⅱ 実践韓国語Ⅰ 実践韓国語Ⅱ	14単位まで	担当教員の所見及び韓国語能力に基づく

VI 転学部・転コースについて

(1) 転学部について

転学部の選考は、原則として欠員のある場合に限ります。また、転学部を受け入れるかどうかは、教育上の支障の有無を勘案した上で判断するので、毎年度必ず選考が行われるとは限りませんし、卒業要件が異なるため、修得済みの単位の扱いも変わってきます。諸事情により転学部を希望する場合は、コースの演習（ゼミ）担当教員等に相談してください。

【転学部選考の大まかな流れ】

- ①10月末日までに各学部の選考方法等をお知らせ。
→毎年度選考が実施されるとは限りません。
- ②12/1～12/22までに転学部を志望する者は転学部願を提出。
→事前に学部長が指定する教員またはコース長と相談のこと。
※詳しい事前相談の手続きは、転学部先のコースごとに異なります。
詳しくは、転学部先のコースの「学生募集要項」を参照してください。
- ③選考は志望の理由、入学試験の成績、学業成績、面接、口頭試験、小論文、筆記試験、実技検査等を組み合わせて総合的に判定し、教授会の議を経て、受入れの可否を決定（2月末日までに）。
※ただし、選考方法は、転学部先のコースによって異なります。
- ④転学部を許可された者は年度当初の4月から新学部の所属とし、配属年次は既修得単位等に基づき決定。

(2) 転コースについて

諸事情により転コースを希望する場合は、コースの演習（ゼミ）担当教員等に相談してください。コースの変更を希望する場合は、所属するコースのコース長の許可が必要となります。

【転コース選考の大まかな流れ】

- ①10月末日までに各学部の選考方法等をお知らせ。
→毎年度選考が実施されるとは限りません。
- ②12/1～12/22までに転コースを志望する者は転コース願を提出。
→事前に学部長が指定する教員またはコース長と相談のこと。
※詳しい事前相談の手続きは、転コース先のコースごとに異なります。
詳しくは、転コース先のコースの「学生募集要項」を参照してください。
- ③選考は志望の理由、入学試験の成績、学業成績、面接、口頭試験、小論文、筆記試験等を組み合わせて総合的に判定し、教授会の議を経て、受入れの可否を決定（2月末日までに）。
※ただし、選考方法は、転コース先のコースによって異なります。
- ④転コースを許可された者は年度当初の4月から新コースの所属とし、配属年次は既修得単位等に基づき決定される。

Ⅶ 授業科目インデックス

2024年度国際関係学部・地域政策学部 授業科目インデックス(科目名順)

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択) 関:コース関連領域科目(選択)
 △:自由選択科目又は広領域科目として履修可能

科目名	科目分類(学部別)		配当年次	単位数	卒業要件(コース別)					担当
	国際関係学部	地域政策学部			国際関係	国際コミュニケーション	地域経済経営	地域公共	地域づくり	
アカデミックライティング		専門基礎科目群/リサーチ科目	1 春	2			○	○	●	濱野、西嶋
アカデミックライティング I	専門基礎科目群/演習科目		1 春	2	●	●				石田、高(一)、中村、深串、渡辺(圭)、張、鄭、孟
アカデミックライティング II	専門基礎科目群/演習科目		1 秋	2	●	●				高(一)、中村、濱田、李(暁)、渡辺(圭)、犬塚、張、孟
アジアのイスラーム世界 ※1	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 春	2	○	○				吉村 ※隔年
アジア環境論	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目群	2・3 春	2	○	○	△	関	関	沖村
アジア経済論	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	2 秋	2	○	○	⊖	関	△	中村
アジア比較政治	専門科目群/国際関係コース科目		3・4 春	2	○	○				深串
アメリカ政治外交論	専門基礎科目群/国際関係コース科目		2 春	2	○	○				佐藤
アメリカ文学	専門基礎科目群/学科共通科目		2・3 秋	2	○	○				宮澤
イギリス文学	専門基礎科目群/学科共通科目		2・3 春	2	○	○				吉中
意思決定論		専門科目群/選択科目	2・3・4 春	2			⊖	関	△	村山
異文化コミュニケーション論	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		1 秋	2	△	○				ハントリー
異文化理解(アメリカ)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	○	○	○	○	○	ヘネベリー
異文化理解(カナダ)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	○	○	○	○	○	ハントリー
異文化理解(韓国)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	○	○	○	○	○	鄭
異文化理解(中国)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	○	○	○	○	○	犬塚
異文化理解(ロシア)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	○	○	○	○	○	シローコフ
英語アカデミックリーディング	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	●	○				島田、三浦
英語 I	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	●	●	●	●	●	ソノヤマ、トーマス、田中(典)、ハントリー、ヘネベリー
英語 II	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	●	●	●	●	●	ソノヤマ、トーマス、田中(典)、ハントリー、ヘネベリー
英語コミュニケーション I	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	2	△	●				ケイン、トーマス
英語コミュニケーション II	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	△	●				ケイン、トーマス
英語音韻論	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	2	△	○				江口
英字新聞リーディング	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	2	△	○				島田
映像コミュニケーション論	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		2・3 春	2	△	○				瓜生
映像表現論	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目	専門科目群/選択科目	2・3 秋	2	△	○	△	△	⊖	西嶋
英文法	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		1 秋	2	△	○				島田
SDGs概論	専門基礎科目群/学科共通科目	専門基礎科目群/選択科目	1 春	2	○	○	⊖	関	●	豊田(知)
エッセイライティング I	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	2	△	●				江口、ソノヤマ
エッセイライティング II	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	△	○				江口
NPO論	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	2・3 秋	2	○	○	△	⊖	⊖	宮下
音声学	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		1 秋	2	△	○				桑本
海外英語研修	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	○	○	○	○	○	江口
海外韓国語研修	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	2 春	2	○	○	○	○	○	鄭
海外中国語研修	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	2 春	2	○	○	○	○	○	張
海外ロシア語研修	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	2 春	2	○	○	○	○	○	シローコフ
会計学		専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2			⊖	△	関	池村
家族社会学		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			△	⊖	⊖	角
環境科学	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 秋	2	○	○	○	○	○	寺田
環境システム論	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	国:3・4 秋、地:2・3・4 秋	2	○	○	△	関	⊖	伊藤
環境経済論	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	国:3・4 秋、地:2・3・4 秋	2	○	○	⊖	△	⊖	豊田(知)
環境政策論		専門科目群/選択科目	2・3・4 春	2			△	関	⊖	伊藤
環境文化論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			△	△	⊖	八田
環境保全論		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			△	△	⊖	北尾
環境法		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			△	⊖	△	岩本
関係人口論		専門科目群/選択科目	2・3・4 秋	2			関	⊖	⊖	田中(輝)

※1 2024年度非開講

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択) 関:コース関連領域科目(選択)
 △:自由選択科目又は広領域科目として履修可能

科目名	科目分類(学部別)		配当年次	単位数	卒業要件(コース別)					担当	
	国際関係学部	地域政策学部			国際関係	国際コミュニケーション	地域経済経営	地域公共	地域づくり		
か	韓国語Ⅰ	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1春	2	▲	▲	○	○	○	北野、鄭、李(正)
	韓国語Ⅱ	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1秋	2	▲	▲	○	○	○	北野、鄭、李(正)
	韓国語コミュニケーションⅠ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2春	1	△	▲				趙
	韓国語コミュニケーションⅡ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2秋	1	△	▲				李(正)
	韓国語読解Ⅰ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2春	2	▲	▲				高(ヘミ)
	韓国語読解Ⅱ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2秋	2	▲	▲				高(ヘミ)
き	企業会計		専門科目群/選択科目	2春	2			⊖	△	△	池村
	起業実践法		専門科目群/選択科目	3・4春	2			関	△	⊖	平井
	基礎演習ⅠA	専門科目群/演習科目		2春	2	●					佐藤、中村、濱田、深串、山本(健三)
	基礎演習ⅠB	専門科目群/演習科目		2春	2		●				江口、島田、三浦
	基礎演習ⅡA	専門科目群/演習科目		2秋	2	●					井上、深串、李(曉)、石田、高(一)、福原、山本(健三)
	基礎演習ⅡB	専門科目群/演習科目		2秋	2		●				ケイン、ハントリー、ヘネベリー
	キャリアデザイン	基礎教養科目群/キャリア科目	基礎教養科目群/キャリア科目	1・2・3春	2	○	○	○	○	○	丸山
	キャリアプラクティス	基礎教養科目群/キャリア科目	基礎教養科目群/キャリア科目	1・2・3春・秋	1	○	○	○	○	○	高須
	キャリアプランニング	基礎教養科目群/キャリア科目	基礎教養科目群/キャリア科目	3春	2	●	●	●	●	●	高須
	行政学	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	1秋	2	○	○	関	●	△	光延
	行政法Ⅰ		専門基礎科目群/選択科目	2春	2			△	⊖	△	岩本
	行政法Ⅱ		専門科目群/選択科目	2・3秋	2			△	⊖	△	岩本
	教養ラボⅠ	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	2通年	4	○	○	○	○	○	田中(典)、寺田
	教養ラボⅡ	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	3通年	4	○	○	○	○	○	田中(典)、寺田
く	グローバル・コラボレーション	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3秋	2	△	○				ケイン
	グローバルイノベーション論	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1春	2	○	○	○	○	○	中村
	グローバル・ガバナンス論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3秋	2	○	○				佐藤
	グローバル市民社会論	専門科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	国:2・3春、地:2春	2	○	○	△	関	⊖	足立
	グローバル時代の平和と安全	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1秋	2	○	○	○	○	○	赤坂
	グローバルディスカッション	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3春・秋	2	△	○				ケイン、ハントリー
け	経営学総論	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	1春	2	○	○	●	関	関	村山
	経営管理論		専門科目群/選択科目	2秋	2			⊖	関	△	桑田
	経営戦略論		専門科目群/選択科目	3・4春	2			⊖	△	△	桑田
	経営組織論		専門基礎科目群/選択科目	2秋	2			⊖	関	⊖	村山
	経済学入門	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1春	2	○	○	○	○	○	建井
	経済数学の基礎	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1春	2	○	○	○	○	○	豊田(佳)
	芸術学	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2秋	2	○	○	○	○	○	八田
	刑法		専門科目群/選択科目	1・2秋	2			△	⊖	△	三宅
	計量経済学		専門科目群/選択科目	2・3春	2			⊖	関	関	須原
	言語学概論	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		1春	2	△	●				島田
	言語文化研究(英語)	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3秋	2	△	○				島田
	言語文化研究(中国語)	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3秋	2	△	○				張
	言語文化研究(韓国語)	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3秋	2	△	○				鄭
	言語文化研究(ロシア語)	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3秋	2	△	○				シローコフ
	現代企業論	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1秋	2	○	○	○	○	○	桑田
	ゲーム理論	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	3・4秋	2	○	○	⊖	△	△	金野
	憲法Ⅰ	専門基礎科目群/学科共通科目	専門基礎科目群/選択科目	1秋	2	○	○	関	⊖	関	岡本(寛)
	憲法Ⅱ	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	2・3春	2	○	○	関	⊖	関	岡本(寛)

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択) 関:コース関連領域科目(選択)
 △:自由選択科目又は広領域科目として履修可能

科目名	科目分類(学部別)		配当年次	単位数	卒業要件(コース別)					担当
	国際関係学部	地域政策学部			国際関係	国際コミュニケーション	地域経済経営	地域公共	地域づくり	
交通・観光経済論		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			⊖	⊖	関	西藤
公共経済論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			⊖	⊖	関	豊田(知)
公共政策論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			⊖	⊖	関	西藤
国際開発論	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目群	国:3・4 春、地:2・3 春	2	○	○	△	関	関	柏木
国際関係概論	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/国際理解科目	1 秋	2	●	○	○	○	○	佐藤
国際機構論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 春	2	○	○				庄司
国際社会学	専門基礎科目群/学科共通科目		2・3 春	2	○	○				山口
国際社会と政治	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 春	2	○	○	○	○	○	赤坂
国際政治学	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/国際理解科目	2 秋	2	●	○	○	○	○	高(一)
国際文化論	専門基礎科目群/学科共通科目		2 春	2	●	○				李(暁)
国際法	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目群	2・3 春	2	○	○	△	⊖	△	李(禎)
コーパス言語学	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3・4 春	2	△	○				三浦
コミュニケーション学概論	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目	専門基礎科目群/選択科目	1 春	2	△	●	△	⊖	関	江口
コミュニケーション分析法	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 秋	2	△	○				江口
コミュニティ政策論		専門基礎科目群/選択科目	2 春	2			関	関	⊖	杉岡
コンピュータ・リテラシー	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 春	2	○	○	○	○	○	松田
さ 財政学		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			⊖	⊖	関	鈴木
ジェンダー論	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 秋	2	○	○	○	○	○	中村
自然地理学	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 秋	2	○	○	○	○	○	林
自然保護思想		専門基礎科目群/選択科目	1 春	2			△	関	⊖	北尾
実践韓国語 I	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 春	2	△	○				高(へみ)
実践韓国語 II	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 秋	2	△	○				高(へみ)
実践中国語 I	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 春	2	△	○				邱
実践中国語 II	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 秋	2	△	○				邱
実践ロシア語 I	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 春	2	△	○				趙
実践ロシア語 II	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 秋	2	△	○				趙
自治体・NPO等キャリアプラクティス		専門基礎科目群/実習科目	1・2・3 春・秋	1			○	○	○	高須
質的調査法	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/リサーチ科目	2 春	2	○	○	○	○	○	宮下
島根県の水産業	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 秋	2	○	○	○	○	○	沖野、福井、細田、開内、松本、岡本
しまね地域共生学入門	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 春	2	○	○	○	○	○	林、建井
社会学	専門基礎科目群/学科共通科目	専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2	○	○	関	●	●	村井
社会学入門	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 春	2	○	○	○	○	○	村井
社会言語学	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	2	△	○				孟
社会思想論		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			△	関	⊖	濱野
社会宗教論	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	2・3 秋	2	○	○	△	△	⊖	播本
社会調査法		専門基礎科目群/リサーチ科目	1 秋	2			○	○	○	伊藤
社会保障論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			関	⊖	⊖	角
商法		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			関	⊖	△	王
情報経済論		専門科目群/選択科目	3・4 春	2			⊖	△	△	近
情報社会論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			⊖	⊖	△	金野
情報リテラシー	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 春	2	○	○	○	○	○	吉田
人文地理学	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 秋	2	○	○	○	○	○	林
心理学概論	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 春	2	○	○	○	○	○	岡本(倫)
す 水産経済政策論		専門科目群/選択科目	3・4 春	2			⊖	関	関	三輪
数的処理の基礎	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/リサーチ科目	1・2 秋	2	○	○	○	○	○	瀬戸

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択) 関:コース関連領域科目(選択)
 △:自由選択科目又は広領域科目として履修可能

科目名	科目分類(学部別)		配当年次	単位数	卒業要件(コース別)					担当
	国際関係学部	地域政策学部			国際関係	国際コミュニケーション	地域経済経営	地域公共	地域づくり	
政策過程論	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目群	2・3 春	2	○	○	関	⊖	△	奥田
政治学	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2	●	○	△	⊖	△	濱田
政治学概論	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	1 春	2	●	○	△	⊖	△	石田
政治思想史	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	2・3 春	2	○	○	△	⊖	△	濱田(泰)
政治哲学	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	2・3 秋	2	○	○	△	⊖	△	松尾
西洋近代史	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	2 春	2	○	○	○	○	○	井内
専門演習Ⅰ(国際関係学部)	専門科目群/演習科目		3 春	2	●	●				学部所属教員(犬塚、姜除く)
専門演習Ⅱ(国際関係学部)	専門科目群/演習科目		3 秋	2	●	●				学部所属教員(犬塚、姜除く)
専門演習Ⅲ(国際関係学部)	専門科目群/演習科目		4 春	2	●	●				学部所属教員(犬塚、姜除く)
専門演習Ⅳ(国際関係学部)	専門科目群/演習科目		4 秋	2	●	●				学部所属教員(犬塚、姜除く)
専門演習Ⅰ(地域政策学部)		専門科目群/演習科目	2 春	2				●		コース所属教員
専門演習Ⅱ(地域政策学部)		専門科目群/演習科目	2 秋	2				●		コース所属教員
専門演習Ⅲ(地域政策学部)		専門科目群/演習科目	3 春	2				●		コース所属教員
専門演習Ⅳ(地域政策学部)		専門科目群/演習科目	3 秋	2				●		コース所属教員
専門演習Ⅴ(地域政策学部)		専門科目群/演習科目	4 春	2				●		コース所属教員
専門演習Ⅵ(地域政策学部)		専門科目群/演習科目	4 秋	2				●		コース所属教員
卒業研究(国際関係学部)	専門科目群/演習科目		4 秋	4	●	●				学部所属教員(犬塚、姜除く)
卒業研究(地域政策学部)		専門科目群/演習科目	4 秋	4			●	●	●	学部所属教員
卒論演習Ⅰ		専門科目群/演習科目	4 春	2					●	コース所属教員
卒論演習Ⅱ		専門科目群/演習科目	4 秋	2					●	コース所属教員
対照言語学	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3・4 春	2	△	○				犬塚
対人コミュニケーション論	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 秋	2	△	○				ヘネベリー
第二言語習得論	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3・4 春	2	△	○				胡子
多文化交流	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	○	○	○	○	○	胡子
多文化共生論入門	専門基礎科目群/学科共通科目	専門基礎科目群/国際理解科目	1 春	2	●	●	○	○	○	佐藤(+ゲスト)
地域金融論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			⊖	△	関	泉
地域経営論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			関	関	⊖	久保田(章)
地域経済経営基礎演習		専門基礎科目群/演習科目	1 秋	2			●			桑田、佐々木、須原、建井
地域経済論		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			⊖	△	関	鈴木
地域研究方法論	専門基礎科目群/学科共通科目		2 春	2	●	○				井上、福原
地域公共基礎演習		専門基礎科目群/演習科目	1 秋	2				●		岩本、角、光延、賈悦
地域交通政策論		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			関	⊖	△	松田
地域産業政策論		専門科目群/選択科目	3・4 秋	2			⊖	関	△	佐々木
地域産業調査分析		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			⊖	△	関	須原
地域資源活用法		専門基礎科目群/選択科目	2 秋	2			関	△	⊖	平井
地域資源論	専門基礎科目群/学科共通科目	専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2	○	○	⊖	関	●	林
地方自治論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			関	⊖	関	光延
地域社会論		専門基礎科目群/学科コア科目	1 秋	2			●	●	●	田中(輝)
地域政策概論		専門基礎科目群/学科コア科目	1 春	2			●	●	●	オムニバス
地方政治		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			△	⊖	△	岡田
地域総合計画論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			△	関	⊖	恩田
地域づくり基礎演習		専門基礎科目群/演習科目	1 秋	2					●	伊藤、播本、平井、宮下
地域ネットワーク活用法		専門科目群/選択科目	3・4 春	2			△	△	⊖	西嶋
地域プロジェクト研究ⅠA		専門科目群/演習科目	2 春	2					●	豊田(知)、西嶋、平井、村岡
地域プロジェクト研究ⅠB		専門科目群/演習科目	2 秋	2					●	伊藤、田中、濱野、播本、宮下
地域プロジェクト研究Ⅱ		専門科目群/演習科目	3 通年	4					●	コース所属教員
地域文化論		専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2			△	△	⊖	仲野

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択) 関:コース関連領域科目(選択)
 △:自由選択科目又は広領域科目として履修可能

科目名	科目分類(学部別)		配当年次	単位数	卒業要件(コース別)					担当
	国際関係学部	地域政策学部			国際関係	国際コミュニケーション	地域経済経営	地域公共	地域づくり	
地域文化入門	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 秋	2	○	○	○	○	○	橋本
地域マネジメント演習Ⅰ		専門科目群/演習科目	2 春	2			●			コース所属教員
地域マネジメント演習Ⅱ		専門科目群/演習科目	2 秋	2			●			コース所属教員
地域マネジメント演習Ⅲ		専門科目群/演習科目	3 春	2			●			コース所属教員
地域マネジメント演習Ⅳ		専門科目群/演習科目	3 秋	2			●			コース所属教員
地域マネジメント演習Ⅴ		専門科目群/演習科目	4 春	2			●			コース所属教員
地域マネジメント演習Ⅵ		専門科目群/演習科目	4 秋	2			●			コース所属教員
地域理解(国内研修)		専門基礎科目群/実習科目	2・3 春	2			○	○	○	西嶋、平井、村岡
中国外交論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 秋	2	○	○				深串
中国語Ⅰ	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	▲	▲	○	○	○	犬塚、張、邱
中国語Ⅱ	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	▲	▲	○	○	○	犬塚、張、邱
中国語コミュニケーションⅠ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	1	△	▲				邱
中国語コミュニケーションⅡ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	1	△	▲				邱
中国語読解Ⅰ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	2	▲	▲				犬塚
中国語読解Ⅱ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	▲	▲				犬塚
中国政治社会論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 春	2	○	○				深串
中小企業論		専門基礎科目群/選択科目	2 春	2			⊖	関	⊖	佐々木
朝鮮半島外交論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 春	2	○	○				高(一)
朝鮮半島社会論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 秋	2	○	○				福原
朝鮮半島政治論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 春	2	○	○				福原
ディベート	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	△	○				ソノヤマ
デジタルコミュニケーション論	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	△	○				ヘネベリー
哲学	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 春	2	○	○	○	○	○	渡辺(圭)
統計学Ⅰ	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 秋	2	○	○	○	○	○	寺田
統計学Ⅱ	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	2 春	2	○	○	○	○	○	寺田
日中交流史	専門科目群/国際関係コース科目		3・4 秋	2	○	○				李(暁)
日朝関係史	専門科目群/国際関係コース科目		3・4 秋	2	○	○				石田
日露関係論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 秋	2	○	○				山本(健三)
日本外交史	専門基礎科目群/国際関係コース科目		2 秋	2	○	○				高(一)
日本語Ⅰ(留学生のみ履修)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	▲	▲	○	○	○	胡子
日本語Ⅱ(留学生のみ履修)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	▲	▲	○	○	○	胡子
日本語Ⅲ(留学生のみ履修)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	▲	▲	○	○	○	胡子
日本語Ⅳ(留学生のみ履修)	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	▲	▲	○	○	○	胡子
日本思想史入門	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 春	2	○	○	○	○	○	濱野
日本の政治	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 春	2	○	○	○	○	○	光延
日本文化論	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 秋	2	○	○	○	○	○	小泉
農業経済政策論		専門科目群/選択科目	3・4 春	2			⊖	関	関	有田
比較憲法	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	2・3 秋	2	○	○	△	⊖	△	岡本(寛)
比較言語文化論	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	△	○				三浦
比較宗教学	専門科目群/国際関係コース科目		3・4 秋	2	○	○				渡辺(圭)
比較文化論	専門基礎科目群/学科共通科目		1・2 秋	2	○	○				渡部(望)
ビジネス英語Ⅰ	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	△	○				三浦
ビジネス英語Ⅱ	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3 春	2	△	○				三浦
ビジネス英語入門Ⅰ	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	○	○	○	○	○	田中(典)、野田
ビジネス英語入門Ⅱ	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	○	○	○	○	○	野田

●:必修 ▲:選択必修 ○:選択 ⊖:コースコア領域科目(選択) 関:コース関連領域科目(選択)
 △:自由選択科目又は広領域科目として履修可能

科目名	科目分類(学部別)		配当年次	単位数	卒業要件(コース別)					担当
	国際関係学部	地域政策学部			国際関係	国際コミュニケーション	地域経済経営	地域公共	地域づくり	
フィールド基礎実習A ※1		専門基礎科目群/実習科目	1・2 春	2			○	○	○	林、建井 ※隔年
フィールド基礎実習B		専門基礎科目群/実習科目	1・2 春	2			○	○	○	林、建井 ※隔年
福祉社会学	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目群	2・3 秋	2	○	○	△	⊖	⊖	角
ブランディング論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			△	△	⊖	平井
プレゼンテーション	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	2	△	○				ソノヤマ
文化遺産活用法		専門科目群/選択科目	2・3・4 秋	2			△	△	⊖	仲野
文学批評論	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3・4 春	2	△	○				ケイン
文化社会学	専門科目群/国際関係コース科目	専門科目群/選択科目	2・3 秋	2	○	○	△	⊖	⊖	村井
文化人類学	専門基礎科目群/学科共通科目	専門基礎科目群/国際理解科目	1・2 春	2	○	○	○	○	○	高谷
文化政策論		専門科目群/選択科目	2・3 秋	2			△	⊖	⊖	松本
文学	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1・2 春	2	○	○	○	○	○	渡部(望)
平和学	専門基礎科目群/学科共通科目	専門基礎科目群/国際理解科目	国:2・3 秋、地:2 秋	2	○	○	○	○	○	濱田(泰)
ベンチャービジネス論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			⊖	△	関	佐々木
法学入門	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 春	2	○	○	○	○	○	岩本
ボーダースタディーズ	専門基礎科目群/学科共通科目		2 秋	2	○	○				福原
北東アジア関係概論	専門基礎科目群/国際関係コース科目		2 秋	2	●	○				井上
北東アジア国際関係史	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/国際理解科目	2 春	2	○	○	○	○	○	苗
北東アジア民族関係論	専門科目群/国際関係コース科目		3・4 秋	2	○	○				井上
ボランティア論		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			△	関	⊖	宮下
マーケティング論		専門科目群/選択科目	2 秋	2			⊖	関	⊖	村山
マクロ経済学	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2	○	○	●	関	△	鈴木
ミクロ経済学	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2	○	○	●	⊖	関	須原
南アジア研究	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 春	2	○	○				近藤 ※隔年
民法Ⅰ(総則)		専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2			関	●	関	賈悦
民法Ⅱ(物権)		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			関	⊖	△	賈悦
民法Ⅲ(債権)		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			関	⊖	△	賈悦
民法と家族		専門基礎科目群/選択科目	1 秋	2			△	⊖	関	賈悦
モンゴル語と文化	専門基礎科目群/国際関係コース科目		1・2 春	2	○	○				孟
モンゴル文化社会論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 春	2	○	○				井上
ヨーロッパ統合論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 秋	2	○	○				山本(健)(非常勤)
リサーチペーパー・ライティング	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目		3・4 春	2	△	○				トーマス、ハントリー
れ 歴史学概論	基礎教養科目群/一般教養科目	基礎教養科目群/一般教養科目	1 春	2	○	○	○	○	○	石田
歴史資料解読法	専門基礎科目群/国際関係コース科目	専門基礎科目群/選択科目	2 春	2	○	○	△	△	⊖	播本
労働法		専門科目群/選択科目	2・3 春	2			関	⊖	△	藤川
ローカル・ジャーナリズム論	専門科目群/国際コミュニケーションコース科目	専門科目群/選択科目	2・3・4 春	2	△	○	△	△	⊖	田中(輝)
ロシア語Ⅰ	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 春	2	▲	▲	○	○	○	シローコフ、趙
ロシア語Ⅱ	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	基礎教養科目群/語学多文化理解科目	1 秋	2	▲	▲	○	○	○	シローコフ、趙
ロシア語コミュニケーションⅠ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	1	△	▲				シローコフ
ロシア語コミュニケーションⅡ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	1	△	▲				趙
ロシア政治経済論	専門科目群/国際関係コース科目		3・4 秋	2	○	○				山本(健三)
ロシア語読解Ⅰ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 春	2	▲	▲				趙
ロシア語読解Ⅱ	専門基礎科目群/国際コミュニケーションコース科目		2 秋	2	▲	▲				趙
ロシア社会論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 春	2	○	○				山本(健三)
ロシア文化論	専門科目群/国際関係コース科目		2・3 秋	2	○	○				渡辺(圭)

※1 2024年度非開講

2024年度 浜田キャンパス学部非常勤講師一覧

氏名	現所属	担当科目
赤坂 一念	島根県立大学松江キャンパス教授	グローバル時代の平和と安全[国関・国コ・地経・地公・地づ] 安全保障論[総] 国際社会と政治[国関・国コ・地経・地公・地づ] 国際政治学入門[総]
足立 治郎	特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター事務局長	グローバル市民社会論[国関・国コ・地経・地公・地づ] NPO・NGO論[総]
有田 昭一郎	中山間地域研究センター地域研究科長	農業経済政策論[地経・地公・地づ]
李 正吉	島根県立大学非常勤講師	韓国語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ・地経・地公・地づ] 韓国語コミュニケーションⅡ[国関・国コ] 韓国語Ⅰ[A]・Ⅱ[A]・Ⅲ[A]・Ⅳ[A]・Ⅳ[B](再)[総] 韓国語特別演習Ⅰ・Ⅱ
池村 恵一	東洋大学経営学部会計ファイナンス学科准教授	会計学[地経・地公・地づ・総] 企業会計[地経・地公・地づ・総]
泉 洋一	山陰合同銀行地域振興部上席研究員	地域金融論[地経・地公・地づ]
井内 太郎	広島大学大学院人間社会科学部研究科教授	西洋近代史[国関・国コ・地経・地公・地づ] イギリス近現代史・西洋近代史[総]
瓜生 忠久	島根県立大学名誉教授	映像コミュニケーション論[国関・国コ・総]
胡子 和子	一般財団法人広島湾地域資源ネットワーク代表理事 比治山大学現代文化学部非常勤講師 広島県 異文化理解促進プログラム講師	日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ[国関・国コ・地経・地公・地づ・総] 第二言語習得論[国関・国コ] 多文化交流[国関・国コ・地経・地公・地づ]
王 殊文	安徽財經大学法学院准教授	商法[地経・地公・地づ・総]
岡田 一郎	島根県立大学非常勤講師	地方政治[地経・地公・地づ]
岡本 倫	医療法人さくら並木会さくらクリニック益田臨床心理士・公認心理師	心理学概論[国関・国コ・地経・地公・地づ] 心理学入門[総]
沖村 理史	広島市立大学広島平和研究所教授	アジア環境論[国関・国コ・地経・地公・地づ]
奥田 恒	金沢大学人間社会研究地域創造学系講師	政策過程論[国関・国コ・地経・地公・地づ・総]
恩田 守雄	島根県立大学非常勤講師・客員研究員	地域総合計画論[地経・地公・地づ・総]
柏木 健一	筑波大学人文社会系教授	国際開発論[国関・国コ・地経・地公・地づ・総]
北尾 邦伸	島根大学名誉教授	環境保全論[地経・地公・地づ・総] 自然保護思想[地経・地公・地づ・総]
北野 由佳	広島大学非常勤講師	韓国語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ・地経・地公・地づ] 中国語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ・地経・地公・地づ] 中国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ[国関・国コ] 実践中国語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ] 中国語Ⅲ[B]・Ⅳ[B](再)[総] 中国語Ⅲ[A]・Ⅳ[A](再)[総]
邱 燕凌	島根県立大学非常勤講師	地域経営論[地経・地公・地づ・総]
久保田 章市	浜田市市長	音声学[国関・国コ]
桑本 裕二	鳥取県東伯郡琴浦町教育総務課日本語支援員	日本文化論[国関・国コ・地経・地公・地づ・総]
小泉 凡	島根県立大学短期大学部名誉教授	韓国語読解Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ] 実践韓国語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ]
高 へみ	島根県立大学非常勤講師	専門演習Ⅲ・Ⅳ[国コ] 卒業研究[国コ]
小林 明子	立命館大学文学部准教授	南アジア研究[国関・国コ]
近藤 高史	東京福祉大学留学生教育センター特任教授	情報社会論[地経・地公・地づ・総] ゲーム理論[地経・地公・地づ] 情報政策論[総]
金野 和弘	大阪公立大学大学院都市経営研究科教授	交通・観光経済論[地経・地公・地づ] 経済政策論[総] 公共政策論[地経・地公・地づ・総]
西藤 真一	桃山学院大学経営学部教授	島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ] 島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ] 島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ] 島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ] 島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ] 島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ] 島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ]
沖野 晃	島根県水産技術センター島根県職員	島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ]
開内 洋	島根県水産技術センター島根県職員	島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ]
福井 克也	島根県水産技術センター島根県職員	島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ]
岡本 満	島根県水産技術センター島根県職員	島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ]
細田 昇	島根県水産技術センター島根県職員	島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ]
松本 洋典	島根県水産技術センター島根県職員	島根県の水産業[国関・国コ・地経・地公・地づ]
庄司 克宏	中央大学総合政策学部・大学院総合政策研究科教授	国際機構論[国関・国コ・総]
杉岡 秀紀	福知山公立大学地域経営学部准教授	コミュニティ政策論[地経・地公・地づ] コミュニティ政策[総]
瀬戸 和希	島根大学数理・データサイエンス教育研究センター助教	数的処理の基礎[国関・国コ・地経・地公・地づ] 情報処理の基礎Ⅰ[総]
園山 ゼナ アロハ	島根県立大学非常勤講師	英語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ・地経・地公・地づ] エッセイライティングⅠ[国関・国コ] プレゼンテーション[国関・国コ] 上級英語Ⅰ[総] ディベート[国関・国コ] 上級英語Ⅱ[総]
タイラー トーマス	島根県立大学非常勤講師	リサーチペーパー・ライティング[国関・国コ] 英語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ・地経・地公・地づ] 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ[国関・国コ] 英語Ⅰ・Ⅱ(再)[国関・国コ・地経・地公・地づ] フレッシュマン英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ(再)[総] ソフモア英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ(再)[総]
高須 佳奈	島根県立大学松江キャンパス准教授	キャリアプランニング[国関・国コ・地経・地公・地づ] キャリア形成Ⅱ(再)[総] キャリアプラクティス[国関・国コ・地経・地公・地づ] 自治体・NPO等キャリアプラクティス[地経・地公・地づ]
高谷 紀夫	広島大学大学院人間社会科学部研究科名誉教授	文化人類学[国関・国コ・地経・地公・地づ・総]
近 勝彦	大阪公立大学大学院都市経営研究科教授	情報経済論[地経・地公・地づ]
趙 姫淑	島根県立大学非常勤講師	ロシア語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ・地経・地公・地づ] ロシア語コミュニケーションⅡ[国関・国コ] ロシア語読解Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ] 実践ロシア語Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ] 韓国語コミュニケーションⅠ[国関・国コ] 韓国語特別演習Ⅰ・Ⅱ

2024年度 浜田キャンパス学部非常勤講師一覧

氏 名	現 所 属	担 当 科 目
豊田 佳隆	島根県立大学非常勤講師	経済数学の基礎[国関・国コ・地経・地公・地づ]
仲野 義文	特定非営利活動法人石見銀山資料館理事長・館長	地域文化論[地経・地公・地づ] 文化遺産活用法[地経・地公・地づ]
野田 大三郎	島根県立大学非常勤講師	ビジネス英語入門Ⅰ・Ⅱ[国関・国コ・地経・地公・地づ] フレッシュマン英語ファウンデーションⅠ・Ⅱ(再)[総]
橋本 剛	島根県教育庁文化財課 古代文化センター主任研究員	地域文化入門[国関・国コ・地経・地公・地づ] 地域文化論[総]
八田 典子	島根県立大学名誉教授	環境文化論[地経・地公・地づ・総] 芸術学[国関・国コ・地経・地公・地づ・総]
林 正久	島根大学名誉教授	自然地理学[国関・国コ・地経・地公・地づ]
藤川 久昭	クラウンズ法律事務所代表弁護士	労働法[地経・地公・地づ・総]
松尾 哲也	大阪大学大学院人文学研究科人文学林准教授	専門演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ[地公] 卒業研究[地公] 政治哲学[国関・国コ・地経・地公・地づ]
松本 茂章	文化と地域デザイン研究所代表・法政大学多摩共生社会研究所特任研究員・法政大学大学院公共政策研究科兼任講師	文化政策論[地経・地公・地づ・総]
丸山 実子	島根大学地域未来協創本部人材育成・キャリアデザイン部門准教授	キャリアデザイン[国関・国コ・地経・地公・地づ] キャリア形成Ⅰ(再)[総]
三宅 孝之	島根大学名誉教授	刑法[地経・地公・地づ・総]
宮澤 文雄	島根大学法学部言語文化学科講師	アメリカ文学[国関・国コ・総]
三輪 千年	元水産大学校教授	水産経済政策論[地経・地公・地づ・総]
山口 いずみ	島根県立大学非常勤講師	国際社会学[国関・国コ] 国際社会論[総]
山本 健	西南学院大学法学部国際関係法学科教授	ヨーロッパ統合論[国関・国コ]
吉田 宜久	島根県商工労働部産業推進課産業デジタル推進室 IT人材コーディネーター	情報リテラシー[国関・国コ・地経・地公・地づ] 情報リテラシー(再)[総]
吉中 孝志	広島大学大学院人間社会科学部研究科文学部教授	イギリス文学[国関・国コ・総]
李 禎之	岡山大学学術研究院社会文化科学学域教授	国際法[国関・国コ・地経・地公・地づ・総]
渡部 望	島根県立大学名誉教授	文学[国関・国コ・地経・地公・地づ・総] 比較文化論[国関・国コ・総]

※担当科目欄 [総]：総合政策学部総合政策学科、[国関]：国際関係学部国際関係学科国際関係コース、
[国コ]：国際関係学部国際関係学科国際コミュニケーションコース、[地経]：地域政策学部地域政策学科地域経済経営コース
[地公]：地域政策学部地域政策学科地域公共コース、[地づ]：地域政策学部地域政策学科地域づくりコース のこと

(※役職、担当科目等については作成時点から変更がある場合があります)

Ⅷ 本学大学院への進学について

本学大学院では、2009年4月より「北東アジア開発研究科」を設置しています。

学部生の皆さんに係る本学大学院に関する制度は次のとおりです。大学院進学に関心のある方は気軽に学務課教務係を尋ねてください。

◆大学院科目早期履修制度

- ・学部在籍中に、大学院の授業を履修できる制度です。本学大学院に進学した場合、この制度を利用して修得した単位を大学院の単位として認定できます。
- ・3年次以上に在籍している学生で、履修希望科目担当教員の下承及び学部の指導教員の同意が必要となります。
- ・この制度を利用して大学院の授業を履修するために、別途、検定料や授業料は必要ありません。
- ・詳しくは、学務課教務係までお問い合わせください。

◆大学院スキル科目の履修制度

- ・北東アジア地域言語の読解力や情報解析のスキルに磨きをかけたい学部生が、大学院のスキル科目（国際言語演習科目、情報解析科目）を履修できる制度です。
- ・学部の成績通知表に大学院科目の単位を修得したことを記載することで、就職活動時に情報解析や語学に秀でた能力を有することを企業の採用担当者に印象づけることができます。
- ・3年次以上に在籍している学生が対象となります。
- ・大学院の授業科目を履修するための授業料は別途必要としません。
- ・修得した単位は、学部の自由単位として認定を受けるのか、大学院進学後の単位として認定を受けるのかを申請時点で選択できることとします。なお、申請時点で進路を明確に決めていない場合は、単位の認定を保留し、結果として大学院に進学する場合は大学院進学後に、進学しない場合は4年次の秋学期までに単位を認定することとします。
- ・詳しくは、学務課教務係までお問い合わせください。

◆大学3年次生対象特別選抜（飛び級入試）制度

- ・大学院進学を希望する学生のうち、成績優秀者は、学部3年次を終了した後、大学院に飛び級進学することができます。
- ・本来であれば、学部と大学院を併せて6年の学修が必要なところを、本制度を利用すれば5年の学修で修士の学位を修得することができます。
- ・学士の資格は授与されないことに注意が必要です。すなわち、大学院を修了すれば最終学歴は「大学院卒」となりますが、中退した場合は「高校卒」となります。
- ・成績要件や選抜試験の実施方法など、詳しくは学務課教務係までお問い合わせください。

◆推薦入学制度

- ・学部の成績において「秀」と「優」の取得率が概ね70%以上あると、推薦入学の対象となります。推薦入学では、小論文試験と面接試験が課されます。



公立大学法人
島根県立大学

浜田キャンパス
地域政策学部